EXHIBIT A

Polypeptide having an activity to support proliferation or survival of hematopoietic stem cell or hematopoietic progenitor cell, and DNA coding for the same

造血幹細胞または造血前駆細胞の増殖または生存を支持し得るボリペプチド およびそれをコードするDNA

発明の背景

技術分野

本発明は、造血幹細胞または造血前駆細胞の増殖または生存を支持し得るポリペプチド、同ポリペプチドをコードするDNA、および、同ポリペプチドを含む医薬組成物に関する。

従来の技術

生体中の成熟血液細胞の寿命は短期間であり、絶えず造血前駆細胞の分化により 成熟血液細胞が供給されることにより、血液の恒常性が保たれている。造血前駆細 胞は、さらに未分化な造血幹細胞の分化により生成する。造血幹細胞は、各種の分 化系列に分化できる能力(分化多能性)を有しているとともに、分化多能性を保持 したまま自己複製することで生涯にわたり、造血細胞を供給する。つまり、自己複 製をすることで分化多能性を持つ幹細胞を生じるとともに、一部は造血前駆細胞を 経て各種の成熟血液細胞に分化することが知られている。

このような血液細胞の分化は、種々のサイトカインにより調節されている。エリスロボエチンは赤血球系の細胞の分化を促進し、G-CSFは好中球系の、トロンボボエチンは巨核球、血小板産生細胞の分化を促進することが知られている。しかしながら、造血幹細胞が分化多能性を保持したまま自己複製するに際し、どのような因子が必要とされるかは分かっていない。造血幹細胞の増殖因子として、SCF/MGF(Williams, D. E., Cell, 63:167-174, 1990; Zsebo, K. M., Cell, 63:213-224, 1990) や、SCGF(W098/08869)などいくつかの報告があるが、いずれも造血幹細胞の分化多能性を十分に維持する作用を有していない。また、既知のサイトカインを複数組み合わせて添加することにより造血幹細胞を培養する試みがなされているが、造血幹細胞を効率的に増幅させる系の確立はできていない(Miller CL, Proc.

造血幹細胞または造血前駆細胞の増殖または生存を支持し得るポリペプチド およびそれをコードするDNA

発明の背景

技術分野

本発明は、造血幹細胞または造血前駆細胞の増殖または生存を支持し得るボリペ プチド、同ポリペプチドをコードするDNA、および、同ポリペプチドを含む医薬 組成物に関する。

従来の技術

生体中の成熟血液細胞の寿命は短期間であり、絶えず造血前駆細胞の分化により 成熟血液細胞が供給されることにより、血液の恒常性が保たれている。造血前駆細 胞は、さらに未分化な造血幹細胞の分化により生成する。造血幹細胞は、各種の分 化系列に分化できる能力(分化多能性)を有しているとともに、分化多能性を保持 したまま自己複製することで生涯にわたり、造血細胞を供給する。つまり、自己複 製をすることで分化多能性を持つ幹細胞を生じるとともに、一部は造血前駆細胞を 経て各種の成熟血液細胞に分化することが知られている。

このような血液細胞の分化は、種々のサイトカインにより調節されている。エリスロボエチンは赤血球系の細胞の分化を促進し、G-CSFは好中球系の、トロンボポエチンは巨核球、血小板産生細胞の分化を促進することが知られている。しかしながら、造血幹細胞が分化多能性を保持したまま自己複製するに際し、どのような因子が必要とされるかは分かっていない。造血幹細胞の増殖因子として、SCF/MGF(Williams, D. E., Cell, 63:167-174, 1990; Zsebo, K. M., Cell, 63:213-224, 1990) や、SCGF(W098/08869)などいくつかの報告があるが、いずれも造血幹細胞の分化多能性を十分に維持する作用を有していない。また、既知のサイトカインを複数組み合わせて添加することにより造血幹細胞を培養する試みがなされているが、造血幹細胞を効率的に増幅させる系の確立はできていない(Miller CL, Proc.

Natl. Acad. Sci. USA, 94:13648-13653, 1997; Yagi M., Proc. Natl. Acad. Sci. USA, 96: 8126-8131, 1999; Shih C. C. Blood, 94:5 1623-1636 1999)

一方、造血細胞の維持、増殖に適した環境を提供するストローマ細胞を利用して造血幹細胞を分化させずに維持、増殖させる試みがなされている (Moore K. A., B lood, 89:12 4337-4347 1997)。また、WO99/03980には、マウス胎児のAGM (Aorta-Gonad-Mesonephros) 領域から株化された、造血幹細胞および造血前駆細胞の増殖または生存を支持し得るストローマ細胞株が開示されている。

これまでの造血細胞に作用する因子に加え、ストローマ細胞とともに、あるいはサイトカインなどの刺激因子とともに、あるいは単独で、造血幹細胞、および造血前駆細胞を効率的に増幅させる効果を持つ新たなペプチドを見いたすことが可能であると考えられる。

発明の概要

ストローマ細胞と造血幹細胞および造血前駆細胞の共培養により、造血幹細胞および造血前駆細胞の生体外での増殖または生存を支持することが可能であることから、造血幹細胞または造血前駆細胞の増殖または生存を支持する因子がストローマ細胞により生産されていることが予想される。本発明は、ストローマ細胞から、造血幹細胞または造血前駆細胞の増殖または生存を支持する因子を提供することを課題とするものである。

本発明者らは、前述の如く、造血幹細胞または造血前駆細胞の増殖または生存を支持する因子がマウス由来ストローマ細胞により生産されていることを予想した。そして、ストローマ細胞の中には、造血幹細胞または造血前駆細胞の増殖または生存を支持する能力(以下、「造血幹細胞支持活性」ということがある)を持つストローマ細胞と造血幹細胞支持活性をもたないストローマ細胞が存在することに注目した。本発明者らは、このような能力の違いは、造血幹細胞支持活性を担う因子をコードする遺伝子の発現が造血幹細胞支持活性を持つストローマ細胞では亢進し、造血幹細胞支持活性を持たないストローマ細胞では低いことによると推測し、

造血幹細胞支持活性を有する細胞において発現の高い遺伝子の中から造血幹細胞または造血前駆細胞の増殖または生存を支持する因子を同定することが可能であると考えた。その結果、造血幹細胞支持活性を有するAGM-s3-A9細胞で発現が高く、造血幹細胞支持活性を有さないAGM-s3-A7細胞で発現が低い、あるいは発現していない遺伝子を同定し、これらの遺伝子群を強発現させた細胞の造血幹細胞支持活性がを評価することにより、本発明を完成するに至った。

すなわち、本発明は以下のとおりである。

- (1) 以下の(A) または(B) のポリペプチドをコードするDNA。
- (A)配列番号19、配列番号23、および、配列番号25からなる群から選ばれるアミノ酸配列を少なくとも有するポリペプチド。
- (B) (A) に記載のアミノ酸配列において、1若しくは数個のアミノ酸が置換、 欠失または挿入されたアミノ酸配列を有し、かつ、造血幹細胞または造血前駆細胞 の増殖または生存を支持する活性を有するボリペプチド。
- (2) 以下の(a) または(b) のDNAである(1) 記載のDNA。
- (a) 配列番号 18 において塩基番号 $1\sim444$ からなる塩基配列、配列番号 22 において塩基番号 $642\sim1370$ からなる塩基配列、および、配列番号 24 において塩基番号 $132\sim506$ からなる塩基配列からなる群から選ばれる塩基配列を少なくとも有する 2000 ののようなる塩基配列がらなる群から選ばれる塩基配列を少なくとも有する 2000 ののようなる塩基配列がらなる群から選ばれる塩基配列を少なくとも有する 2000 ののようなる塩基配列がらなる群から選ばれる塩基配列を少なくとも有する 2000 ののようなる塩基配列がらなる群から選ばれる塩基配列を少なくとも有する 2000 ののようなる塩基配列がらなる群から選ばれる塩基配列を少なくとも有する 2000 ののようなる塩基配列がらなる群からなる
- (b) (a) に記載の塩基配列を有するDNAまたは同DNAから調製され得るプロープとストリンジェントな条件下でハイブリダイズし、かつ、造血幹細胞または造血前駆細胞の増殖または生存を支持する活性を有するボリペプチドをコードするDNA。
- (3) 前記ストリンジェントな条件が、6×SSC、5×Denhardt、0.5% SDS、68℃ (SSC; 3M NaCl、0.3M クエン酸ナトリウム) (50×Denhardt; 1% BSA、1% ポリビニルビロリドン、1% Ficoll 400) または6×SSC、5×Denhardt、0.5% SDS、50% ホルムアミド、42℃である(2)記載のDNA。
- (4) (1) \sim (3) のいずれかに記載のDNAを発現可能な形態で含む発現ベクター。

- (5) (1)~(3)のいずれかに記載のDNAが発現可能な形態で導入された細胞。
- (6) (1)~(3)のいずれかに記載のDNAの発現産物であり、造血幹細胞または造血前駆細胞の増殖または生存を支持する活性を有するポリペプチド。
- (7) 配列番号19、配列番号23、および、配列番号25からなる群から選ばれるアミノ酸配列、または、このアミノ酸配列において、1若しくは数個のアミノ酸が置換、欠失または挿入されたアミノ酸配列を有する(6)記載のポリペプチド。
- (8) ポリエチレングリコール (PEG)、デキストラン、ポリ (N-ビニルーピロリドン)、ポリプロピレングリコールホモポリマー、ポリプロピレンオキシド/エチレンオキシドのコポリマー、ポリオキシエチル化ポリオール、ポリビニルアルコールのいずれか、またはそれらの2種以上の組合わせによって修飾された (6)または (7) に記載のポリペプチド。
- (9) (6)~(8)のいずれかに記載のボリベプチドに結合するモノクローナル抗体。
- (10) 以下の(A)または(B)のポリペプチドをコードするDNAが発現したストローマ細胞を造血幹細胞または造血前駆細胞と共培養することを含む、造血幹細胞または造血前駆細胞の増殖または生存を支持する方法。
- (A)配列番号9、配列番号11、配列番号13、配列番号15、配列番号17、配列番号19、配列番号21、配列番号23、配列番号25、配列番号27、および、配列番号29からなる群から選ばれるアミノ酸配列を少なくとも有するポリペプチド。
- (B) (A) に記載のアミノ酸配列において、1 若しくは数個のアミノ酸が置換、 欠失または挿入されたアミノ酸配列を有し、かつ、造血幹細胞または造血前駆細胞 の増殖または生存を支持する活性を有するボリベプチド。
- (11) DNAが以下の(a)または(b)のDNAである(10)記載の方法。
- (a) 配列番号8において塩基番号 $1\sim1671$ からなる塩基配列、配列番号10において塩基番号 $1\sim1674$ からなる塩基配列、配列番号12において塩基番号 $1\sim366$ からなる塩基配列、配列番号14において塩基番号 $84\sim1121$ から

なる塩基配列、配列番号 16 において塩基番号 $1\sim1035$ からなる塩基配列、配列番号 18 において塩基番号 $1\sim444$ からなる塩基配列、配列番号 20 において塩基番号 $1\sim444$ からなる塩基配列、配列番号 22 において塩基番号 $642\sim1370$ からなる塩基配列、配列番号 24 において塩基番号 $132\sim506$ からなる塩基配列、配列番号 26 において塩基番号 $1\sim2487$ からなる塩基配列、および、配列番号 28 において塩基番号 $1\sim2487$ からなる塩基配列、および、配列番号 28 において塩基番号 $1\sim2496$ からなる塩基配列からなる群から選ばれる塩基配列を少なくとも有する 2496 からなる塩基配列からなる群から選ばれる塩基配列を少なくとも有する 2496 からなる塩基配列からなる

- (b) (a) に記載の塩基配列を有するDNAまたは同DNAから調製され得るプローブとストリンジェントな条件下でハイブリダイズし、かつ、造血幹細胞または造血前駆細胞の増殖または生存を支持する活性を有するボリペプチドをコードするDNA。
- (12) 以下の(A)または(B)のボリベブチドであって、その存在下で造血 幹細胞または造血前駆細胞を培養したときに造血幹細胞または造血前駆細胞の増 殖または生存を支持する活性を示すポリベブチドの存在下で造血幹細胞または造 血前駆細胞を培養することを含む、造血幹細胞または造血前駆細胞の増殖または生 存を支持する方法。
- (A)配列番号9、配列番号11、配列番号13、配列番号15、配列番号17、配列番号19、配列番号21、配列番号23、配列番号25、配列番号27、および、配列番号29からなる群から選ばれるアミノ酸配列を少なくとも有するポリペプチド。
- (B) (A) に記載のアミノ酸配列において、1若しくは数個のアミノ酸が置換、 欠失または挿入されたアミノ酸配列を有し、かつ、造血幹細胞または造血前駆細胞 の増殖または生存を支持する活性を有するポリペプチド。
- (13) 以下の(A)または(B)のポリベプチドであって、その存在下で造血 幹細胞または造血前駆細胞を培養したときに、造血幹細胞または造血前駆細胞の増 殖または生存を支持する活性を示すポリペプチドを有効成分として含む、造血幹細 胞または造血前駆細胞の増殖または生存を支持し得る医薬組成物。
- (A)配列番号9、配列番号11、配列番号13、配列番号15、配列番号17、

配列番号19、配列番号21、配列番号23、配列番号25、配列番号27、および、配列番号29からなる群から選ばれるアミノ酸配列を少なくとも有するボリペプチド。

(B) (A) に記載のアミノ酸配列において、1若しくは数個のアミノ酸が置換、 欠失または挿入されたアミノ酸配列を有し、かつ、造血幹細胞または造血前駆細胞 の増殖または生存を支持する活性を有するポリペプチド。

本明細書において用いる用語につき、以下の通り定義する。

造血幹細胞とは、血球の全ての分化系列に分化し得る多分化能を有する細胞であり、かつ、その多分化能を維持したまま自己複製することが可能な細胞である。造血前駆細胞とは、単一の血液細胞分化系列あるいは、全てではない複数の分化系列に分化できる細胞を称する。ストローマ細胞とは、生体内の造血環境を模してインビトロで造血環境を再現させようとするときに使用できる造血幹細胞と共培養に供すことが可能な細胞を指す。試験管内で造血細胞と共培養できる細胞であればその由来を問わない。

赤血球前駆細胞は、試験管内の培養環境で維持増幅させることは困難であり急速 に消失してしまう。赤血球前駆細胞の維持、増殖が確認される場合は、より未分化 な造血幹細胞あるいは造血前駆細胞が維持、増殖されることで、赤血球前駆細胞が 継続的に産生されていることと考えられる。従い、ヒト造血幹細胞の評価系では、 赤血球前駆細胞(BFU-E、CFU-E、CFU-Emix)が維持、増殖されているかを指標とす ることで造血幹細胞あるいは未分化な造血前駆細胞が増殖していることを確認す ることができる。

図面の簡単な説明

図1は、CD34陽性造血幹細胞とAGM-s3サブクローンA9、A7、D11とを2週間共培養した後のコロニーアッセイによる造血幹細胞および造血前駆細胞の増殖状況を示す図である。

図2は、CD34陽性造血幹細胞とAGM-s3サブクローンA9、A7、またはOP9細胞とを2 週間共培養した後のコロニーアッセイによる造血幹細胞および造血前駆細胞の増 殖状況を示す図である。

図3は、各種ストローマ細胞株と共培養した造血幹細胞を移植された放射線照射 マウスの末梢血における、骨髄球系およびリンバ球系細胞のドナー由来細胞キメリズムの経時変化を示す図である。

図 4 は、CD34陽性造血幹細胞と、遺伝子SCR-2を強発現するAGM-S3-A9細胞 (A9/S CR-2)、コントロールベクターを導入したAGM-S3-A9細胞 (A9/pMX1G)、または、A GM-S3-A9細胞 (A9) とを2週間共培養した後のコロニーアッセイによる造血幹細胞および造血前駆細胞の増殖状況を示す図である。

図5は、CD34陽性造血幹細胞と、遺伝子SCR-2を強発現するAGM-S3-A7細胞 (A7/S CR-2)、コントロールベクターを導入したAGM-S3-A7細胞 (A7/pMXIG)、または、AGM-S3-A7細胞 (A7)とを2週間共培養した後のコロニーアッセイによる造血幹細胞および造血前駆細胞の増殖状況を示す図である。

図 6 は、遺伝子SCR-3を強発現するAGM-S3-A7細胞(A7/SCR-3)、コントロールベクターを導入したAGM-S3-A7細胞(A7/pMXIG)、または、AGM-S3-A7細胞(A7)と共培養した造血幹細胞を移植された放射線照射マウスの末梢血における、骨髄球系およびリンパ球系細胞のドナー由来細胞キメリズムの経時変化を示す図である。

図7は、CD34陽性造血幹細胞と、遺伝子SCR-4を強発現するAGM-S3-A9細胞(A9/S CR-4)、コントロールベクターを導入したAGM-S3-A9細胞(A9/pMXIG)、または、AGM-S3-A9細胞(A9)とを2週間共培養した後のコロニーアッセイによる造血幹細胞および造血前駆細胞の増殖状況を示す図である。

図8は、遺伝子SCR-5を強発現するAGM-S3-A7細胞(A7/SCR-5)、コントロールベクターを導入したAGM-S3-A7細胞(A7/pMXIG)、または、AGM-S3-A7細胞(A7)と共培養した造血幹細胞を移植された放射線照射マウスの末梢血における、骨髄球系およびリンパ球系細胞のドナー由来細胞キメリズムの経時変化を示す図である。

図 9 は、CD34陽性造血幹細胞と、遺伝子SCR-6を強発現するAGM-S3-A9細胞 (A9/S CR-6)、コントロールベクターを導入したAGM-S3-A9細胞 (A9/pMXIG)、または、A GM-S3-A9細胞 (A9) とを2週間共培養した後のコロニーアッセイによる造血幹細胞および造血前駆細胞の増殖状況を示す図である。

図10は、CD34陽性造血幹細胞と、遺伝子SCR-7を強発現するAGM-S3-A9細胞(A9/SCR-7)、コントロールベクターを導入したAGM-S3-A9細胞(A9/pMXIG)、または、AGM-S3-A9細胞(A9)とを2週間共培養した後のコロニーアッセイによる造血幹細胞および造血前駆細胞の増殖状況を示す図である。

図11は、CD34陽性造血幹細胞と、遺伝子SCR-8を強発現するAGM-S3-A9細胞(A9/SCR-8)、コントロールベクターを導入したAGM-S3-A9細胞(A9/pMXIG)、または、AGM-S3-A9細胞(A9)とを2週間共培養した後のコロニーアッセイによる造血幹細胞および造血前駆細胞の増殖状況を示す図である。

発明の詳細な説明

以下、本発明を詳細に説明する。

造血幹細胞支持活性を有するAGM-s3-A9細胞で発現が高く、造血幹細胞支持活性を有さないAGM-s3-A7細胞で発現が低い、あるいは発現していない遺伝子として同定され、それを強発現させた細胞において造血幹細胞支持活性が増強または付与されたことが確認された遺伝子は以下のものである。なお、遺伝子の番号は便宜のために本発明者らにより付与されたものである。

遺伝子SCR-2

GenBank登録番号AF185613のマウス遺伝子Mus musculus glypican-1 (GPC-1) と同一の遺伝子である。

マウス由来のものの塩基配列及びその塩基配列から推測されるアミノ酸配列を 配列番号8に示す。また、アミノ酸配列のみを配列番号9に示す。

GPC-1のヒトアミノ酸配列はGenBank登録番号P35052に、ヒト塩基配列はGenBank 登録番号AX020122でみることができる。ヒトの遺伝子でも同様の活性が検出される と考えてよい。

ヒト由来のものの塩基配列及びその塩基配列から推測されるアミノ酸配列を配列番号10に示す。また、アミノ酸配列のみを配列番号11に示す。

グリピカンは、細胞表面に存在する主要なへバラン硫酸プロテオグリカンであり、 システインに富む球状領域 (cysteine rich globular domain) 、短いグリコサミ ノグリカン結合領域、グリコシルフォスファチジルイノシトール膜膜結合領域の特徴的な構造を有している。これまでにグリピカン-1からグリピカン-6までの6種類のファミリー遺伝子が発見されている。 (J Biol Chem 1999 Sep 17;274(38):2696 8-77、Glypican-6, a new member of the glypican family of cell surface heparan sulfate proteoglycans. Veugelers M, De Cat B, Ceulemans H, Bruystens AM, Coomans C, Durr J, Vermeesch J, Marynen P, David G)

GPC-1の生物学活性については、種々の報告がなされている。ヘパリン結合性の成長因子 (fibroblast growth factor 2 (FGF2)、heparin-binding EGF-like growth factor (HB-EGF))の増殖刺激活性を調節し、これらの増殖因子の刺激によるオートクライン増殖するガン細胞の増殖を促進する。 (J Clin Invest 1998 Nov 1;102(9):1662-73、The cell-surface heparan sulfate proteoglycan glypican-1 regulates growth factor action in pancreatic carcinoma cells and is over expressed in human pancreatic cancer.、Kleeff J, Ishiwata T, Kumbasar A, F riess H, Buchler MW, Lander AD, Korc M)

HGF (hepatocyte groth factor) と結合し、抗原特異的なB細胞のサイトカインに対する反応性を促進する。細胞と接着分子との会合に関与し細胞の浸潤性に関与する (J Biol Chem 1998 Aug 28;273(35):22825-32、Heparan sulfate proteoglyc ans as adhesive and anti-invasive molecules. Syndecans and glypican have distinct functions.、Liu W, Litwack ED, Stanley MJ, Langford JK, Lander AD, Sanderson RD) 。これらの知見は、GPC-1が種々の細胞刺激因子の活性発現に関与することを示している。また、グリビカンファミリー遺伝子の骨髄での発現を確認した報告もある (Biochem J 1999 Nov 1;343 Pt 3:663-8、Expression of proteoglycan core proteins in human bone marrow stroma.、Schofield KP, Gallagher JT, David G) 。しかし、これらの報告では、造血幹細胞あるいは造血前駆細胞へのGPC-1の作用について記載されていない。

遺伝子SCR-3

GenBank登録番号U15209、Mus musculus chemokine MMRP2 mRNA.、U19482、Mus m

usculus C10-like chemokine mRNA、U49513、Mouse macrophage inflammatory protein-lgamma mRNAのマウス遺伝子と同一の遺伝子である。

マウス由来のものの塩基配列及びその塩基配列から推測されるアミノ酸配列を 配列番号12に示す。また、アミノ酸配列のみを配列番号13に示す。

遺伝子SCR-4

マウス由来のものの塩基配列及びその塩基配列から推測されるアミノ酸配列を 配列番号14に示す。また、アミノ酸配列のみを配列番号15に示す。

この配列は、GenBank登録番号AF131820 Homo sapiens clone 25077 mRNA、seque nceと高い相同性が確認され、AF131820のマウスオーソログと判断される。また、この配列はWO 00/66784に記載されている。

ヒト由来のものの塩基配列及びその塩基配列から推測されるアミノ酸配列を配列番号16に示す。また、アミノ酸配列のみを配列番号17に示す。

遺伝子SCR-5

マウス由来のものの塩基配列及びその塩基配列から推測されるアミノ酸配列を 配列番号18に示す。また、アミノ酸配列のみを配列番号19に示す。

この配列は、GenBank登録番号AF325503 Homo sapiens esophageal cancer related gene 4 protein (ECRG4) mRNAと高い相同性が確認され、AF325503のマウスオーソログと判断される。

ヒト由来のものの塩基配列及びその塩基配列から推測されるアミノ酸配列を配列番号20に示す。また、アミノ酸配列のみを配列番号21に示す。

遺伝子SCR-6

マウス由来のものの塩基配列及びその塩基配列から推測されるアミノ酸配列を 配列番号22に示す。また、アミノ酸配列のみを配列番号23に示す。

遺伝子SCR-7

マウス由来のものの塩基配列及びその塩基配列から推測されるアミノ酸配列を 配列番号24に示す。また、アミノ酸配列のみを配列番号25に示す。

遺伝子SCR-8

GenBank登録番号AB009673 Mus musculus mRNA for ADAM23、と同一の遺伝子である。

マウス由来のものの塩基配列及びその塩基配列から推測されるアミノ酸配列を配列番号26に示す。また、アミノ酸配列のみを配列番号27に示す。

この配列は、特開平11-155574に記載された配列と高い相同性を示し、従って、 特開平11-155574に記載の配列はヒトオーソログ遺伝子と判断される。

ヒト由来のものの塩基配列及びその塩基配列から推測されるアミノ酸配列を配列番号28に示す。また、アミノ酸配列のみを配列番号29に示す。

これらの遺伝子の産物であるボリペプチドは、造血幹細胞または造血前駆細胞の増殖または生存を支持する活性を有する。造血幹細胞または造血前駆細胞の増殖または生存を支持する活性を有するとは、そのボリペプチドの存在下で、または、そのボリペプチドを発現するストローマ細胞の存在下で、造血幹細胞または造血前駆細胞の増殖または生存が支持されることをいう。

従って、本発明は、上記ポリペプチド及びそれをコードするDNAの用途、及び、 そのうちの新規なポリペプチド及びそれをコードするDNAを提供するものであ る。

上記のDNAによりコードされるポリペプチドである幹細胞増殖支持因子は、前記DNAを適当な宿主細胞に導入して形質転換細胞を調製し、該形質転換細胞中で前記DNAを発現させることによって製造することができる。

上記のDNAは、コードされる幹細胞増殖支持因子の活性が損なわれない限り、 1若しくは数個のアミノ酸が置換、欠失または挿入された同因子をコードするもの であってもよい。このような幹細胞増殖支持因子と実質的に同一のポリペプチドを コードするDNAは、例えば部位特異的変異法によって、特定の部位のアミノ酸残 基が置換、欠失、挿入、付加、または逆位を含むように塩基配列を改変することによって得られる。

上記のような変異を有するDNAを、適当な細胞で発現させ、発現産物の造血幹 細胞支持活性を調べることにより、幹細胞増殖支持因子と実質的に同一の機能を有 するポリペプチドをコードするDNAが得られる。また、変異を有する幹細胞増殖 支持因子をコードするDNAまたはこれを保持する細胞から、例えば配列番号8、 10、12、14、16、18、20、22、24、26または28記載の塩基配 列を有するDNA、またはこれらのDNAから調製され得るプローブとストリンジ エントな条件下でハイブリダイズし、かつ、造血幹細胞支持活性を有するタンパク 質をコードするDNAを単離することによっても、幹細胞増殖支持因子と実質的に 同一のタンバク質をコードするDNAが得られる。プローブの長さは通常には30 0~1000塩基である。ストリンジェントな条件としては、例えば、70%以上、 好ましくは80%以上の相同性(DNASIS version 3.7(日立ソフトウェアエンジニア リング社製)のcompare機能のhomology searchを用いて特定することができる)を 有するDNAがハイブリダイズし、それよりも相同性の低いDNA同士がハイブリ ダイズしない条件が挙げられる。前記ストリンジェントな条件としては、6×88C、 5×Denhardt、0.5% SDS、68℃(SSC;3M NaCl、0.3M クエン酸ナトリウム)(50× Denhardt:1% BSA、1% ポリビニルビロリドン、1% Ficoll 400) または6×SSC、5 ×Denhardt、0.5% SDS、50% ホルムアミド、42℃などが挙げられる。

上記のDNAを発現させるための宿主としては、エシェリヒア・コリ (Escheric hia coli)、酵母等の微生物、動物または植物由来の培養細胞等が用いられる。宿主としては、哺乳動物由来の培養細胞が好ましい。尚、原核細胞を宿主とする場合は、シグナルペプチド部位を、βーラクタマーゼ (bla)、アルカリフォスファターゼ (phoA)、外膜タンパク質A (ompA)等の原核細胞に適したリーダー配列に置換するか、成熟型タンパク質のN末端部位にメチオニン残基を付加した状態で発現させると良い。

上記のDNAの宿主細胞への導入は、例えば、宿主に対応したベクターに、上記のDNAを発現可能な形態で組み込み、得られる組換えベクターを宿主細胞に導入

することによって行うことができる。

哺乳動物由来の培養細胞としては、CHO細胞、293細胞、COS7細胞等が挙げられる。 上記のDNAを発現させるためのプロモーターなどの発現調節配列は、上記遺伝子 固有のものであっても、他の遺伝子由来のもの、例えばサイトメガロウイルスプロ モーター、エロンゲーションファクター1プロモーター等であってもよい。

また、動物培養細胞用のベクターとしては、プラスミドベクター、レトロウイルスベクター、アデノウイルスベクター (Neering, S.J., Blood, 88:1147, 1996)、ヘルペスウイルスベクター (Dilloo, D., Blood, 89:119, 1997)、HIVベクターなどが挙げられる。

組換えベクターを培養細胞に導入するには、培養細胞の形質転換に通常用いられている方法、例えば、リン酸カルシウム共沈殿法、リボソーム法、DEAEデキストラン法、エレクトロボレーション法、マイクロインジェクション法等が用いられる。

本発明のポリペプチドには、配列番号9、配列番号11、配列番号13、配列番号15、配列番号17、配列番号19、配列番号21、配列番号23、配列番号25、配列番号27、または、配列番号29に示すアミノ酸配列を有するボリベプチドに加えて、このアミノ酸配列において、1若しくは数個のアミノ酸が置換、欠失または挿入されたアミノ酸配列を有し、かつ、造血幹細胞支持活性を有するポリペプチドも含まれる。すなわち、マウスおよびヒト由来の幹細胞増殖支持因子にアミノ酸が置換、欠失または挿入等の改変を加えたものであっても、幹細胞増殖支持因子の本質的な機能を保持するものは、幹細胞増殖支持因子と実質的に同等なものとみなすことができる。

このような修飾された幹細胞増殖支持因子は、幹細胞増殖支持因子をコードする DNAまたは該DNAを保持する宿主を変異剤で処理するか、または該DNAに部 位特異的変異法によって特定の部位のアミノ酸が置換、欠失または挿入されるよう に変異を導入することによって、取得することができる。得られた変異ボリペプチ ドが、造血幹細胞支持活性を保持することは、後記実施例に示すように、変異型ボ リベプチドの存在下で培養した造血幹細胞を、放射線照射したマウスへ移植し、移 植後の末梢血液像を経時的に調べることによって、確認することができる。

また、アミノ酸の欠失については、造血幹細胞支持活性を有する限り、N末端および/またはC末端のアミノ酸配列を欠失したフラグメントであってもよい。N末端および/またはC末端のアミノ酸配列を欠失したフラグメントは通常の方法により得ることができ、フラグメントが、造血幹細胞支持活性を保持することは、変異ポリベブチドについて説明したのと同様にして確認することができる。特に、アミノ酸配列にシグナル配列や膜貫通領域と予測される部分がある場合には、それを指標にして造血幹細胞支持活性を有するフラグメントを予測できる。例えば、ヒトSCR-8のコードするタンパク質は、タイプIの1回膜貫通型のタンパク質であり、膜貫通領域を欠失した可溶性タンパク質であっても造血幹細胞または造血前駆細胞の増殖または生存を支持する活性を有することが予測される。膜貫通領域は、アミノ酸配列に基づいて公知のプログラムにより予測できる。例えば、PSORT IIと呼ばれるプログラム(インターネットにより入手可能、URL: http://psort.nibb.ac.jp/index.html)により予測した場合、膜貫通領域は配列番号29において790~806位のアミノ酸であり、789位までのフラグメントでも造血幹細胞または造血前駆細胞の増殖または生存を支持する活性を有することが予測される。

上記DNAは、本発明によってそれらの塩基配列が明らかにされたので、それらの配列に基づいて作製したオリゴヌクレオチドをプライマーとするPCRによって、または該配列に基づいて作製したオリゴヌクレオチドをプローブとするハイブリダイゼーションによって、マウスまたはヒトのeDNAライブラリーもしくは染色体DNAライブラリから、単離することによっても取得することができる。

本発明のDNAは、本発明を完成するに際しては、後述するように、造血幹細胞支持活性を有するマウスストローマ細胞株であるAGM-s3-A9細胞のcDNAライブラリーから、SBH法(Sequencing By Hibridization) (Drmanac, S., Nat. Biotechnol., 16.54, 1998; Drmanac, R., Methods. Enzymol., 303, 165, 1999) によって単離した。造血幹細胞支持活性を有するマウスストローマ細胞株は、W099/03980号記載の方法によって、あるいは理化学研究所細胞開発銀行またはATCCより取得することができる。

以下に、SBH法の概要について述べる。配列の異なる8または9塩基よりなるプローブを準備する。標的遺伝子の中にプローブと一致する配列が存在すれば、そのプローブは遺伝子とハイブリダイズすることができ、ハイブリダイズしたことはプローブをRIあるいは蛍光色素でラベルしておくことで、容易に確認できる。ライブラリのクローンを一つずつビックアップしてメンブランにブロットし、上記のプローブと繰り返しハイブリダイゼーションを行い、各クローンがどのプローブとハイブリダイズしたかを検出する。遺伝子ごとにハイブリダイズするプローブの組み合わせは決まっているので、同一の遺伝子にハイブリダイズするプローブの組み合わせは一定である。すなわち、ハイブリダイズするプローブの組み合わせは一定である。すなわち、ハイブリダイズするプローブの組み合わせから同一の遺伝子を一つのグルーブ(クラスター)として同定することができる。cDNAライブラリの個々のクローンを、ハイブリダイズするプローブのパターンにより分類、計数することにより、個々の遺伝子のクローンがライブラリ中に何個含まれるか知ることができる。このようにして、各遺伝子のライブラリ中の発現頻度を同定することが可能である。

造血幹細胞支持活性を有する細胞、および同活性を有しない細胞からcDNAライブラリを作製し、クラスタリングを行い、各細胞間での遺伝子発現状況を比較し、支持細胞で特異的に発現が亢進している遺伝子を選択する。これらの遺伝子についてさらに、前述の各細胞での発現状況を、ノーザン解析によりさらに検討し、造血幹細胞支持活性を有する細胞に発現が高い遺伝子を取得する。

上記の遺伝子は、上記の過程を経て取得された支持細胞に特異的に発現が高い遺伝子であり、AGM-s3-A9細胞由来cDNAライブラリより、全長遺伝子をクローン化した。

さらに、遺伝子産物の造血支持能について評価するため遺伝子のORFを含む遺伝子断片をストローマ細胞にレトロウィルスベクターを用いて遺伝子導入し、同細胞の造血幹細胞造支持活性の変化を検討した。実際には、遺伝子を導入していないストローマ細胞またはコントロールベクターを導入したストローマ細胞と遺伝子を導入したストローマ細胞のそれぞれと、マウス造血幹細胞を共培養したのち、放射線照射マウスに造血細胞を移植し、共培養した造血細胞の生着について検討した。

その結果、遺伝子を導入した細胞で共培養した造血幹細胞を移植したマウスでは、遺伝子を導入していない細胞と比較して、移植後のキメリズムが上昇していた。この結果は、遺伝子を発現させたストローマ細胞では、造血幹細胞または造血前駆細胞の増殖、生存を支持する活性が増強されたまたは付与されたことを示す。この結果から、上記の遺伝子の発現は、ストローマ細胞において上記活性を増強または付与する作用を持つことが明らかとなった。したがい、上記の遺伝子の産物は造血幹細胞または造血前駆細胞に作用し、その生存あるいは増殖を支持する活性を有する、あるいは、ストローマ細胞に作用し造血幹細胞支持活性を増強または付与する活性を有することが明らかになった。

本発明のボリペプチドは、造血幹細胞または造血前駆細胞に作用し、その生存あるいは増殖を支持する活性を有するものである場合、すなわち、その存在下で造血幹細胞または造血前駆細胞を培養したときに造血幹細胞または造血前駆細胞の増殖または生存を支持する活性を示す場合には、ヒト造血幹細胞または造血前駆細胞の増殖または支持のための医薬として用いることができる。当該医薬組成物は、ヒトの造血幹細胞または造血前駆細胞の生体外での増殖または生存の支持に利用することができる。末梢血幹細胞移植、臍帯血幹細胞移植などの造血幹細胞移植療法では、移植する造血幹細胞数が十分量取得できず移植が実施できないときがある。十分量の幹細胞が取得できない場合でも、該ボリペプチドを利用することで造血幹細胞数を試験管内で増幅し、必要量の造血幹細胞を取得し移植することが可能である。すなわち、該ボリペプチドを培養液に含む様な培地で造血幹細胞を培養することで、造血幹細胞を分化させずに増幅することが可能である。その際に、種々のサイトカインを添加し、造血幹細胞をより効率的に増幅することも可能と考えられる。本発明のボリペプチドを含む培地で造血幹細胞または造血前駆細胞を培養する

本発明のボリペンナドを含む岩地で塩皿幹細胞または塩皿削駆細胞を培養する際、用いる造血幹細胞または造血前駆細胞は、これらのいずれか一方が単離されたものであってもよく、これらの両方であってもよい。また、造血幹細胞または造血前駆細胞の少なくとも一方を含み、さらに他の造血細胞を含むのであってもよい。さらには、造血幹細胞または造血前駆細胞を含む細胞群から分画された造血幹細胞または造血前駆細胞を含む分画であってもよい。

本発明の方法における造血幹細胞および造血前駆細胞の採取源としては、ヒトおよびマウス等の哺乳動物の胎児肝臓、骨髄、胎児骨髄、末梢血、サイトカインおよび/または抗癌剤の投与によって幹細胞を動員した末梢血、および臍帯血等が挙げられ、造血幹細胞を含む組織であればいずれであってもよい。

造血幹細胞または造血前駆細胞を培養するにあたっては、いわゆる培養用のシャーレ、フラスコを用いた培養法が可能であるが、培地組成、pHなどを機械的に制御し、高密度での培養が可能なバイオリアクターによって、その培養系を改善することもできる(Schwartz, Proc.Natl.Acad.Sci.U.S.A.,88:6760,1991; Koller, M.R., Bio/Technology, 11:358, 1993; Koller, M.R., Blood, 82: 378, 1993; Palsson, B.O., Bio/Technology, 11:368, 1993)。

本発明のポリペプチドをコードするDNAを発現するストローマ細胞は、DNA の発現に関して記載したようにして得ることができる。

ストローマ細胞と造血細胞の共培養は、骨髄を採取したのち、そのまま培養を行うことで可能である。また、骨髄を採取した上で、ストローマ細胞、造血細胞、その他の細胞群などを分離し、骨髄を採取した個人以外のストローマ細胞、造血細胞の組み合わせで共培養を実施することも可能である。また、ストローマ細胞のみを培養し増殖させた後に造血細胞を添加し共培養を実施することも可能である。その際に、ストローマ細胞を、細胞刺激因子を培養系に添加することによって、より有効に増殖、生存を支持することができる。このような細胞刺激因子として、具体的には、SCF(幹細胞因子)、IL-3(インターロイキン-3)、GM-CSF(顆粒球マクロファージ・コロニー刺激因子(granulocyte/macrophage colony-stimulating factor))、IL-6(インターロイキン-6)、TPO(トロンボポエチン)、G-CSF(顆粒球コロニー刺激因子(granulocyte colony-stimulating factor))、TGF-b(トランスフォーミング成長因子-b)、MIP-1a(Davatelis, G., J. Exp. Med. 167:1939、1988)、などのサイトカインに代表される増殖因子、EPO(エリスロポエチン)のような造血ホルモン、ケモカイン、Wnt遺伝子産物、ノッチリガンドのような分化増殖調節因子、発生調節因子などがあげられる。

また、本発明のポリペプチドが、造血幹細胞または造血前駆細胞に作用し、その

生存あるいは増殖を支持する活性を有するものである場合、すなわち、その存在下で造血幹細胞または造血前駆細胞を培養したときに造血幹細胞または造血前駆細胞の増殖または生存を支持する活性を示す場合には、ストローマ細胞の非存在下で本発明のポリペプチドの組換え体を単独で、あるいは細胞刺激因子の存在下に造血幹細胞または造血前駆細胞に作用させることで、造血幹細胞または造血前駆細胞の増殖、生存を維持することが可能である。この際使用される細胞刺激因子としては、上記に記載してある細胞刺激因子などが挙げられる。

培養に用いる培地としては、造血幹細胞または造血前駆細胞の増殖、生存が害されない限り特に制限されないが、例えばMEM- α 培地(GIBCO BRL)、SF-02培地(三光純薬)、Opti-MEM培地(GIBCO BRL)、IMDM培地(GIBCO BRL)、PRMI1640培地(GIBCO BRL)、が好ましいものとして挙げられる。培養温度は、通常25~39℃、好ましくは33~39℃である。また、培地に添加する物質としては、ウシ胎児血清、ヒト血清、ウマ血清、インシュリン、トランスフェリン、ラクトフェリン、エタノールアミン、亜セレン酸ナトリウム、モノチオグリセロール、2-メルカプトエタノール、ウシ血清アルブミン、ビルビン酸ナトリウム、ポリエチレングリコール、各種ビタミン、各種アミノ酸、 CO_2 は、通常、4~6%であり、5%が好ましい。

造血幹細胞は、全ての造血系の分化系列へ分化が可能なので、試験管内で造血幹細胞を増幅後種々の細胞種に分化させ移植することが可能である。例えば、赤血球が必要であれば、患者の幹細胞を培養し増幅した後、EPOなどの赤血球分化誘導を促進する因子を利用して赤血球を主成分とする造血細胞を人為的に産生することが可能である。

本発明のポリペプチドを用いて培養された造血幹細胞または造血前駆細胞は、従来の骨髄移植や臍帯血移植に代わる血液細胞移植用の移植片として用いることができる。造血幹細胞の移植は、移植片が半永久的に生養させられることから、従来の血液細胞移植治療を改善することができる。

造血幹細胞の移植は、白血病に対する全身X線療法や高度化学療法を行う際に、 これらの治療と組み合わせる他、種々の疾患に用いることができる。例えば、固形 癌患者の化学療法、放射線療法等の骨髄抑制が副作用として生じる治療を実施する 際に、施術前に骨髄を採取しておき、造血幹細胞、造血前駆細胞を試験管内で増幅し、施術後に患者に戻すことで、副作用による造血系の障害から早期に回復させることができ、より強力な化学療法を行えるようになり、化学療法の治療効果を改善する事ができる。また、本発明により得られる造血幹細胞ならびに造血前駆細胞を各種血液細胞に分化させ、それらを患者の体内に移入することにより、各種血液細胞の低形成により不全な状況を呈している患者の改善を図ることができる。また、再生不良性貧血などの貧血を呈する骨髄低形成に起因する造血不全症を改善することができる。その他、本発明の方法による造血幹細胞の移植が有効な疾患としては、慢性肉芽腫症、重複免疫不全症候群、無ガンマグロブリン血症、Wiskott-Aldrich症候群、後天性免疫不全症候群(AIDS)等の免疫不全症候群、サラセミア、酵素欠損による溶血性貧血、鎌状赤血球症等の先天性貧血、Gaucher病、ムコ多糖症等のリソゾーム蓄積症、副腎白質変性症、各種の癌または腫瘍等が挙げられる。

造血幹細胞の移植は、用いる細胞以外は、従来行われている骨髄移植や臍帯血移植と同様に行えばよい。

上記のような造血幹細胞移植に用いられる可能性のある造血幹細胞の由来は、骨髄に限られず、前述したような胎児肝臓、胎児骨髄、末梢血、サイトカインおよび /または抗癌剤の投与によって幹細胞を動員した末梢血、および臍帯血等を用いる ことができる。

移植片は、本発明の方法によって産生した造血幹細胞および造血前駆細胞の他に、 緩衝液等を含む組成物としてもよい。

また、本発明により産生される造血幹細胞または造血前駆細胞は、ex vivoの遺伝子治療に用いることができる。造血幹細胞に対する遺伝子治療は、幹細胞が静止期にあり染色体との組換え率が低いこと、また、培養中に幹細胞が分化してしまうこと等から困難であったが、本発明を利用することによって、幹細胞を分化させずに増幅でき、遺伝子導入効率に大幅な改善が見込める。この遺伝子治療は、造血幹細胞または造血前駆細胞に外来遺伝子(治療用遺伝子)を導入し、得られる遺伝子導入細胞を用いて行われる。導入される外来遺伝子は、疾患によって適宜選択される。血液細胞を標的細胞とする遺伝子治療の対象となる疾患としては、慢性肉芽腫

症、重複免疫不全症候群、無ガンマグロブリン血症、Wiskott-Aldrich症候群、後 天性免疫不全症候群(AIDS)等の免疫不全症候群、サラセミア、酵素欠損による溶 血性貧血、鎌状赤血球症等の先天性貧血、Gaucher病、ムコ多糖症等のリソゾーム 蓄積症、副腎白質変性症、各種の癌または腫瘍等が挙げられる。

造血幹細胞または造血前駆細胞に治療用遺伝子を導入するには、通常動物細胞の遺伝子導入に用いられる方法、例えば、モロニーマウス白血病ウイルス等のレトロウイルスベクター、アデノウイルスベクター、アデノ随伴ウイルス(AAV)ベクター、単純ヘルベスウイルスベクター、HIVベクター等のウイルス由来の遺伝子治療に用いられる動物細胞用ベクター(遺伝子治療用ベクターについては、Verma, I.M., Nature, 389:239, 1997 参照)を用いる方法、リン酸カルシウム共沈法、DEAE-デキストラン法、エレクトロボレーション法、リボソーム法、リボフェクション法、マイクロインジェクション法等を用いることができる。これらの中では、標的細胞の染色体DNAに組み込まれて恒久的に遺伝子の発現が期待できるという点から、レトロウイルスベクター、アデノ随伴ウイルスベクターまたはHIVベクターが好ましい。

例えば、アデノ随伴ウイルス(AAV)ベクターは、次のようにして作製することができる。まず、野生型アデノ随伴ウイルスDNAの両端のITR(inverted terminal repeat)の間に治療用遺伝子を挿入したベクタープラスミドと、ウイルスタンパク質を補うためのヘルパープラスミドを293細胞にトランスフェクションする。続いてヘルバーウイルスのアデノウイルスを感染させると、AAVベクターを含むウイルス粒子が産生される。あるいは、アデノウイルスの代わりに、ヘルバー機能を担うアデノウイルス遺伝子を発現するプラスミドをトランスフェクションしてもよい。次に、得られるウイルス粒子を造血幹細胞または造血前駆細胞に感染させる。ベクターDNA中において、目的遺伝子の上流には、適当なプロモーター、エンハンサー、インシュレーター等を挿入し、これらによって遺伝子の発現を調節することが好ましい。さらに、治療用遺伝子に加えて薬剤耐性遺伝子等のマーカー遺伝子を用いると、治療用遺伝子が導入された細胞の選択が容易となる。治療用遺伝子は、センス遺伝子であってもアンチセンス遺伝子であってもよい。

遺伝子治療用組成物は、本発明の方法によって産生された造血幹細胞および造血 前駆細胞の他に、緩衝液、新規の活性物質等を含む組成物としてもよい。

また、本発明のDNAを常法により発現ベクターに組み込み、遺伝子治療用のベクターを製造することができる。当該遺伝子治療用ベクターは、ヒトの造血幹細胞の維持・増殖を必要とする疾病の治療に有用である。すなわち、造血幹細胞に当遺伝子治療ベクターを導入し、in vitroで培養することで造血幹細胞、造血前駆細胞を優位に増殖させることが可能となる。このように処理した造血幹細胞を体内に戻すことで、体内で造血幹細胞を増殖させることが可能になる。また、当遺伝子治療ベクターを体内に移入することで体内での造血幹細胞の増殖を促進することが可能になる。あるいは、患者から取得した骨髄細胞をそのまま培養し当遺伝子治療ベクターを移入することで培養系の中で造血幹細胞、前駆細胞を増殖させることが可能になる。あるいは、骨髄よりストローマ細胞を分離培養し得られるストローマ細胞、間質幹細胞(mesenchymal stem ceil)に当遺伝子治療ベクターを移入することで、造血幹細胞支持能を付与または上昇させることが可能である。

また、実施例に示すとおり造血幹細胞支持能のないストローマ細胞に本発明のDNAを導入することにより造血幹細胞支持能を付与することが可能になることから、ヒトあるいはマウス由来のストローマ細胞に遺伝子移入することで造血幹細胞支持能を有するストローマ細胞を作製することができる。本発明のDNAを発現するストローマ細胞と造血幹細胞あるいは造血前駆細胞を共培養することで造血幹細胞あるいは造血前駆細胞を共培養することで造血幹細胞あるいは造血前駆細胞を維持、増殖させ種々の治療に役立てることが可能である。

本発明のDNAがストローマ細胞に発現されることで、造血幹細胞または造血前駆細胞の増殖、生存が維持されることから、本発明のDNAの発現を指標にしてストローマ細胞の造血幹細胞支持能を評価することが可能である。その方法としては、本発明のDNAによりコードされるボリペプチドに対する抗体を用いてストローマ細胞での発現を確認することが可能である。また、塩基配列からPCRプライマーを作製し、目的ストローマ細胞からRNAを調製し、RT-PCRを実施することで本発明のDNAの発現を確認することも可能である。上記抗体については後述する。

また、本発明の医薬組成物は、ヒトに投与することもできる。本発明のポリペプチドを医療上許容される希釈剤、安定化剤、担体および/またはその他の添加物と混合することにより、ヒトの造血幹細胞または造血前駆細胞に対する増殖または支持作用を有する医薬組成物を製造することができる。その際、本発明のポリペプチドは、タンパク質の生体内での安定性を高める修飾剤によって修飾されていてもよい。このような修飾剤としては、ポリエチレングリコール(PEG)、デキストラン、ボリ(N-ビニルービロリドン)、ボリブロビレングリコールホモポリマー、ポリプロピレンオキシド/エチレンオキシドのコポリマー、ポリオキシエチル化ポリオール、ポリビニルアルコール等が挙げられる。PEGによるタンバク質の修飾は、例えば、PEGの活性エステル誘導体とタンパク質を反応させる方法、あるいは、PEGの末端アルデヒド誘導体とタンパク質とを還元剤の存在下で反応させる方法等によって行うことができる。このようなタンパク質の修飾については、特表平10-510980号に詳細に開示されている。

本発明の医薬組成物をヒトに投与することによって、抗癌剤の副作用による造血 抑制からの回復、骨髄移植、末梢血幹細胞移植、臍帯血移植時の造血細胞の早期回 復、再生不良性貧血(AA)、骨髄異形成症候群 (MDS) などの汎血球減少症の造血機 能回復が期待できる。

本発明の抗体は、上記本発明のポリペプチドと特異的に反応する。本発明の抗体は、該ポリペプチドと特異的に反応し得るものであればモノクローナル抗体でもポリクローナル抗体でもよい。

本発明の抗体は、常法に従って調製することができ、例えば、アジュバントとともに抗原で動物を一回あるいは数週間をはさんで複数回追加免疫する生体内(in vivo)の方法、免疫細胞を分離して適当な培養系で感作させる生体外(in vitro)の方法のいずれかの方法によって調製し得る。本発明の抗体を産生し得る免疫細胞としては、例えば脾細胞、扁桃腺細胞、リンパ節細胞などがあげられる。

抗原として使用するポリペプチドは、必ずしも上記の本発明のボリペプチド全体 を使用する必要はなく、該ポリペプチドの一部分を抗原として使用してもよい。抗 原が短いペプチド、特にアミノ酸20残基前後の場合は、キーホールリンペットへモ シアニンや牛血清アルブミンのような抗原性の高いキャリアタンパク質と化学修飾などによって結合させて用いるか、あるいは、キャリアタンパク質のかわりに分枝骨格を持つベブチド、例えばリジンコア MAPペプチド (Posnett et al., J. Bio l. Chem. 263, 1719-1725, 1988; Lu et al., Mol. Immunol. 28, 623-630, 1991; Briand et al., J. Immunol. Methods 156, 255-265, 1992) と共有結合させて用いる。

アジュバントは、例えば、フロイントの完全、または不完全アジュバントや水酸 化アルミニウムゲルなどが用いられる。抗原を投与する動物としては例えばマウス、 ラット、ウサギ、ヒツジ、ヤギ、ニワトリ、ウシ、ウマ、モルモット、ハムスター などが用いられる。ボリクローナル抗体はこれらの動物から血液を採取して血清を 分離し、硫安沈澱および陰イオン交換クロマトグラフィーまたはプロテインAまた はGクロマトグラフィーで免疫グロブリンを精製して得られる。

ニワトリの場合、卵より抗体を精製することもできる。モノクローナル抗体は、例えばin vitroで感作した、あるいは上記動物の免疫細胞を培養可能な親細胞と融合させて作製したハイブリドーマ (hybridoma) 細胞の培養上清から、もしくは同ハイブリドーマ細胞を動物腹腔内接種して得られる腹水から精製して調製することができる。親細胞としては、例えばX63、NS-1、P3U1、X63.653、SP2/0、Y3、SX0-007、GM1500、UC729-6、HM2.0、NP4-1細胞などがあげられる。また、in vitroで感作した、あるいは上記動物の免疫細胞にEBウイルスなどの適当なウイルスを感染させ、得られる不死化抗体産生細胞を培養することにより調製することもできる。

これら細胞工学的手法とは別に、in vitroで感作した、あるいは上記動物の免疫 細胞から抗体遺伝子をPCR(polymerase chain reaction)反応によって増幅して取 り出し、大陽菌等の微生物に導入して抗体を産生させたり、抗体を融合タンパク質 としてファージ表面に発現させるなど、遺伝子工学的手法により得ることもできる。

本発明の抗体を用いて、生体におけるボリペプチドを定量する事により、ボリベ プチドの各種疾患の病態との係わりを解明する事が出来、さらに同抗体は疾患の診 断ひいては治療、且つボリペプチドの効率的なアフィニティー精製に資する事が出 来る。 本発明により、造血幹細胞または造血前駆細胞に作用し、その生存あるいは増殖を支持する活性を有する、あるいは、ストローマ細胞に作用し造血幹細胞支持活性を付与する活性を有するボリペプチド、およびそれをコードするDNAが提供される。本発明のポリペプチドを用いることにより、造血幹細胞または造血前駆細胞の増殖、生存を効率的に維持することが可能になる。

発明を実施するための最良の形態

以下、実施例により本発明をさらに具体的に説明する。

実施例1 造血幹細胞支持細胞に特異的に発現する遺伝子の断片の取得

- (1) マウスAGM由来ストローマ細胞株の取得
- (1) マウス胎児のAGM領域の分離

C3H/HeNSLcマウス (日本エスエルシー株式会社より購入)の雌雄をSPF(specific pathogen-free)の環境のもとで飼育した。1ないし2匹の雌を1匹の雄と一晩、同じケージにいれ、翌朝、膣栓の存在が確認された雌マウスを新しいケージに移して飼育した。膣栓の確認された日を懐胎0.5日とした。懐胎10.5日目のマウスを頚椎脱臼により死に至らしめた後、胎児を摘出した。AGMの分離は、Godin等(Godin, I., Proc. Natl. Aacd. Sci. U.S.A., 92:773-777, 1995)、 Medvinsky等(Medvinsky, A.L., Blood, 87:557-565,1996)の方法に準拠して実施した。胎児が浸る程度にPBS(一)(リン酸緩衝生理食塩水)(日水製薬製)を入れた培養皿に胎児を入れ、実体顕微鏡下で、AGM領域を他の領域を含まないように慎重に切除し、新たな24ウェルの培養皿(Nunc社)に移した。

(2) AGM由来細胞株の樹立

2 4 ウェルの培養皿 (Nunc社) に移したAGM領域に、10% FCS (Hyclone社) を 含むMEM培地 (Sigma社) を一滴加え、一晩、培養器中で培養した。培養は、10% FC S (Hyclone社) を含むMEM培地 (Sigma社)、37℃、5% CO₂、湿度100%の条件下で行った。一晩の培養で、AGM領域の細胞が培養皿に付着したところで、さらに、2

mlの10% FCSを含むMEM培地を添加した。その後、培養を継続することにより、AGM 領域組織片の周辺には次第にストローマ細胞が出現した。さらに1週間培養を継続した後、接着細胞をトリプシン処理(0.05% トリプシン, 0.53mM EDTA(Gibco BRL社)を含むPBS中、37°C、3~5分)によって剥がした後、培地で2回洗浄し、6ウェル培養皿(Nunc社)に播種した。翌日、培養皿に付着しなかった細胞を培地とともに除去し、新たに新鮮な培地を添加した。6ウェル培養皿に移してから2週間後に、内在する造血細胞を除去するため900 Radのγ線を照射した。この培養系から限界希釈法で直接細胞のクローニングを行ったが、細胞の増殖は認められず、クローニングすることはできなかった。そこで、一つのウェルに播種する細胞数を増やし、少ない細胞からの増殖に耐えられるように細胞を馴化してから限界希釈法によるクローニングを実施することとした。

すなわち、上記と同様にして、AGMを摘出して培養を行い、 γ 線を照射してから 2 週間になる培養系をトリプシン処理(0.05% トリプシン,0.53mM EDTAを含むPBS中、37%、3~5分)して細胞を懸濁し、5~0~1~0~0 細胞/ウェルとなるように 2~4 ウェル培養皿に播種した。 3 週間培養を継続した後、限界希釈法により、0.3~2 細胞/ウェルとなるように 2~2 6 ウェル培養皿(Nunc社)に細胞を播種し、一個の細胞のみが播種されているウェルから増殖してきた細胞を拡大培養した。その結果、線維芽細胞様の細胞と、敷石状の細胞が得られ、クローニングに成功した。

ヒト臍帯血由来CD34陽性細胞分画を、線維芽細胞様の細胞と二週間共培養し、培養系中のコロニー形成細胞の有無について検討したところ、線維芽細胞様の細胞との共培養系中にはコロニー形成細胞が認められなかった。そこで、敷石状の形態を示す細胞7クローンについて同様の検討を行い、ヒト造血幹細胞増殖支持活性を有するクローンが3つ得られた。これらをACM-s1、AGM-s2およびAGM-s3と命名した。(II) マウス骨髄からの造血幹細胞の調製

C57BL/6-Ly5.1 pep (8~10週齢、雄) (筑波大学 中内啓光教授より供与)の大腿骨内の骨髄を採取し、PBSに懸濁した。定法に従い(高津聖志、免疫研究の基礎技術、羊土社1995)、マウス骨髄単核球細胞画分を比重遠心法により濃縮した後、染色バッファー (5% FCS, 0.05% NaNaを含むPBS)に懸濁し、以下の方法で造血幹細

胞分画を取得した (Osawa, M. et al., Science 273:242-245, 1996)。

FITC結合CD34抗体、フィコエリスリン結合Sca-1抗体、アロフィコシアニンc-Kit (全てPharmingen社製)、および、分化マーカー(Lin)として以下の6種類のビオチン化した分化抗原特異的な抗体、CD45R, CD4, CD8, Gr-1, Ter119, CD11c (全てPharmingen社製)を、骨髄単核球細胞懸濁液に添加し、氷中で20分間放置し反応させた。染色バッファーで2回洗浄した後に、セルソーター (FACS Vantage, Becton Dickinson社)により、CD34陰性、Sca-1陽性、c-Kit陽性、Lin陰性細胞を分取した。

- (III) マウスストローマ細胞株のサブクローニング、および各種細胞株の造血幹 細胞支持活性の評価
- (1) マウスストローマ細胞株のサブクローニング
- 1) AGM-s3サブクローンの分離

非働化10%FCS (ウシ胎児血清、Hyclone社)を含むMEM α 培地 (GIBCO BRL社)で継代培養をしているAGM由来ストローマ細胞株AGM-s3を5% FCS含有PBS (PBS-FCS)に懸濁し、セルソーター (FACS Vantage; Becton Dickinson)を用いて1細胞/ウェルで96ウェル培養皿 (Falcon社)にクローンソーティングを行なった。96ウェル中、細胞が増殖してきたウェルについて拡大培養し、13種のAGM-s3のサブクローンを得た。これらのAGM-s3サブクローンについて造血細胞の支持能を検討した。

2) ヒト臍帯血CD34陽性幹細胞の分離

ヒト臍帯血は、キリンビール医薬探索研究所倫理委員会の基準に準拠し、正常分娩時に採取した。臍帯血は凝固しないようにヘバリンを添加したシリンジを用いて採取した。ヘバリン処理臍帯血をLymphoprep(NYCOMED PHARMA)に重層し、比重遠心(4006、室温、30分間)により単核細胞を分離した。単核細胞に混入した赤血球は、塩化アンモニウム緩衝液(0.83% NH₄C1-Tris HC1 20mM, pH6.8)で室温2分間処理して溶血させた。PBS-FCSで単核細胞を洗浄後、10mgのヒトIgGを添加し、氷冷下、10分間放置した後、さらに細胞をPBS-FCSで洗浄し、ヒト分化血球に特異的な抗原に対するビオチン化抗体すなわち、CD2、CD11c(ATCCハイブリドーマを入手し精製)、CD19(Pharmingen社)、CD15、CD41(Leinco Technologies, Inc.社)、Glycop

horin A (コスモバイオ社) に対する抗体を添加し氷冷下、20分間放置した。細胞をPBS-FCSで洗浄後、5% FCS、10mM EDTA、0.05% NaNaを含むPBS (PBS-FCS-EDTA-NaNa) 1mlに懸濁し、ストレプトアビジン結合磁性体ビーズ (BioMag, PerSeptive Diagnostics社)を添加して氷冷下、40分間放置した。分化抗原を発現した分化血球をマグネチックセパレーター (Dynal MPC-1, Dynal社)を用いて除去し、残りの分化血球抗原陰性分画にFITC標識抗CD34抗体 (Immunotech S.A., Marseilles, France)を添加し、氷冷下、20分間のインキュベーションの後、セルソーターによりCD34陽性分画を回収した。この細胞集団をヒト臍帯血由来造血幹細胞集団とした。

3) ヒト造血幹細胞とAGM-s3サブクローンとの共培養

13種のAGM-s3のサブクローンおよびマウス骨髄由来ストローマ細胞株MS-5のそれぞれを、 $1x10^4$ /ウェルで24ウェル培養皿(Falcon社)に播種し、10% FCSを含むM $EM\alpha$ 培地1m1で培養し、細胞がウェルの底一面を覆うまで増殖させた。上記ストローマ細胞上にCD34陽性ヒト臍帯血由来造血幹細胞を500個/ウェルで重層し、1m1の10% FCSを含むMEM α 培地にて共培養した。共培養開始1週間後に同様の培地1m1をさらに添加した。共培養開始2週間日にトリプシン処理(0.05% トリプシン、0.5mM EDTAを含むPBS(GIBCO BRL社)で37%、 $2\sim5$ 分間放置)によりストローマ細胞とヒト血液細胞を同時に培養皿より剥がし、造血幹細胞支持活性をコロニーアッセイにより評価した。

4) コロニーアッセイによる造血幹細胞および造血前駆細胞の増殖状況の評価

上記共培養系にて増殖した細胞は、適宜稀釈して1mlメチルセルロース培養系に付し、解析を行なった。メチルセルロース培養系は、MethoCult H4230 (Stem Cell Technologies Inc.社)に10ng/ml ヒトSCF、ヒトIL-3、ヒトIL-6、ヒトG-CSF、ヒトTPO、2 1U/ml EPOを添加し、6ウェル培養皿 (Falcon社)にて実施した。上記で用いた各種造血因子は、いずれもリコンビナント体であり、純粋なものである。2週間の培養の後、出現してきたコロニーを顕微鏡下で観察し、CFU-GM(granulocyte-macrophage colony-forming unit)、BFU-E(erythroid burst forming unit)、および、CFU-E mix(erythrocyte mixed colony-forming unit)の数を計測した。

図1にCD34陽性造血幹細胞とAGM-s3サブクローンA9、A7またはD11との2週間共培

養の結果を示す。13種のAGM-s3サブクローンのうちA9とD11の2クローンが、CFU-GM、BFU-E、および、CFU-E mixのすべての分化系列の細胞の増殖を支持した。特に赤血球系の前駆細胞であるBFU-E、および、CFU-E mix を維持することは通常困難であるが、A9またはD11細胞との共培養系ではその増殖が認められた。この結果は、A9またはD11細胞との共培養により造血幹細胞あるいは造血前駆細胞が増殖あるいは維持されることにより、常に赤血球系の前駆細胞が出現してきていることを示している。一方、A7は、その細胞の形態がA9に似ているが、CFU-GM、BFU-E、および、CFU-E mixを支持しなかった。

5) A9とマウス胎仔由来ストローマ細胞株OP9のヒト造血幹細胞支持活性の比較

上記手法を用いて、さらに、AGM-s3サブクローンA9、A7とマウス胎仔由来ストローマ細胞株OP9(RCB1124、理化学研究所 細胞開発銀行)のCD34陽性ヒト臍帯血由来造血幹細胞に対する幹細胞支持能の比較をCFU-GM、BFU-E、CFU-E、および、CFU-E mixを指標に、上記の評価系を用いて実施した。図2に2週間共培養の結果を示す。A7細胞培養系では、CFU-GM、BFU-E、および、CFU-Eの有意な減少が確認され、CFU-E mixは完全に消失していた。一方、OP9細胞ではA9には劣るが、CFU-E mixを含む各種血球前駆細胞が維持されており、造血幹細胞支持能を有することが明らかとなった。

(2) 各種細胞株の造血幹細胞支持活性の評価

前記の各ストローマ細胞株 (AGM-s3-A9、AGM-s3-A7、AGM-s3-G1)、3T3Swiss (ATCC)、0P9およびNIH3T3 (ATCC)を5×10⁴値ずつ24ウェルの培養皿 (Falcon社)に播種し、非働化10% FCS (ウシ胎児血清、Hyclone社製)を含むMEMα培地 (GIBCO B BL社製)にて1日培養し、細胞が培養皿の底一面を覆うまで増殖させた。その後、1m1の新たな培地に交換し、上記 (II)で得たマウス造血幹細胞 (C57BL/6-Ly5.1由来)30個をこれらの細胞上に重層し、培養を開始した。

培養7日目に、細胞をトリプシン処理(0.05% トリプシン、0.5mM EDTAを含むPB S (GIBCO BRL社)で37℃、 $2\sim5$ 分間放置)し、培養皿の全ての細胞を剥がし回収した。回収した各全細胞を、それぞれ20万個の全骨髄細胞(C57BL/6-Ly5.2マウス由来、チャールスリバー社)と共に、8.5GyのX線を照射したC57BL/6-Ly5.2(チ

ャールスリバー社、8週齢、雄)マウスに尾静注より移植した。移植後、経時的に 眼窩より末梢血を回収し、FACSによりC578L/6-Ly5.1 pepマウス由来の細胞数の割 合を算定した。定法に従い(高津聖志、免疫研究の基礎技術、羊土社1995)、末梢 血の解析を行った。末梢血50μ1に蒸留水を350μ1加え、30秒間放置し、赤血球を 溶血させた後に、2倍濃度のPBSを加え遠心し、白血球を回収した。細胞を染色バッファー(5% FCS、0.05% NaNaを含むPBS)で1回洗浄した後に、抗CD16抗体、FIT C結合抗Ly5.1 (CD45.1) 抗体、フィコエリスリン結合抗Gr-1抗体およびCD11c抗体、 ならびに、アロフィコシアニン結合CD90 (Thy1)抗体およびCD45R (B220)抗体(全て、Pharmingen社より購入)を添加し、水中で30分放置して反応させた後に、染

移植後経時的に、末梢血中の、Gr-1またはCD11c陽性細胞(骨髄球系)のLy5.1陽性の割合と、CD90またはCD45R陽性細胞(リンパ球系)のLy5.1陽性の割合を、それぞれ算定することにより、造血幹細胞培養期間中の再構築を行うことが可能な細胞数の増減を推定した。

結果を図3に示す。AGM-s3-A9細胞、OP9細胞、または、3T3Swiss細胞と共培養した細胞を移植した場合は、移植後ドナー細胞の高いキメリズムが維持され、これらのストローマ細胞が高い造血幹細胞支持活性を有することが観察された。一方、AGM-s3-A7細胞、AGM-s3-G1細胞、または、NIH3T3細胞の場合、移植した細胞由来の高いキメリズムが認められず、これらのストローマ細胞株の造血幹細胞・前駆細胞の支持活性は低い。

(IV) 造血幹細胞支持細胞に特異的に発現する遺伝子の配列の同定

AGM-s3-A9細胞、AGM-s3-A7細胞、および、OP9細胞のそれぞれをISOGEN(日本国ニッポンジーン)20 mlに溶解し、添付文書に従ってトータルRNAを調製した。トータルRNA 1mgを用いて、mRNA purification kit (米国Amersham Pharmacia社)のプロトコルに従い、メッセンジャーRNAを調製した。本メッセンジャーRNAを用いて定法によりcDNAを合成し、pSPORT1(米国GIBO Lifetech社)を用いてcDNAライブラリー(以下、それぞれAGM-s3-A9 cDNA、AGM-s3-A7 cDNAおよびOP9 cDNAともいう)を構築した。本ライブラリーを用いて、SBH法(米国Hyseq社)により、AGM-s3-A7細胞のでは、AGM-s3-A7をAGMのでは、AGM-s3-A7細胞のでは、AGM-s3-A7にAGMのでは、AGM-s3-A7にAGMのでは、AGM-s3-A7にAGMのでは、AGM-s3-A7にAGMのでは、AGM-s3-A7にAGMのでは、AGM-s3-A7にAGMのでは、AGM-s3-A7にAGMのでは、AGM-s3-A7にAGMのでは、AGM-s3-A7にAGMのでは、AGM-s3-A7にAGMのでは、AGM-s3-A7にAGMのでは、AGM-s3-A7にAGMのでは、AGM-s3-A7にAGMのでは、AGM-s3-A7にAGMのでは、AGM-s3-A7にAGMのでは、AGM-s3-A7にAGMのでは、AGM-s3-A7にAGMのでは、AGM-s3-A7にAGMのではAGMの

胞と比べた場合にAGM-s3-A9細胞あるいはOP9細胞に特異的に高発現するcDNA断片を有するクローンを取得した。取得したクローンについて、ABI377 DNAシーケンサー (米国Perkin Elmer社)を用いて塩基配列を決定した。

この結果、それぞれ配列番号 1、配列番号 2、配列番号 3、配列番号 4、配列番号 4、配列番号 5、配列番号 6、および、配列番号 7に示す塩基配列またはその一部を有する遺伝子の発現が、AGM-s3-A9あるいはOP9細胞でAGM-s3-A7細胞より高いことが判明した。これらの遺伝子を、それぞれ、SCR-2、SCR-3、SCR-4、SCR-5、SCR-6、SCR-7、および、SCR-8と命名した。

実施例2 SCR-2のクローニングおよび活性評価

配列番号1の塩基配列に関し、GenBankデータベースをBLASTを用いて検索することで、SCR-2は、登録番号AF185613のマウス遺伝子Mus musculus glypican-1 (Gpc-1)と同一の遺伝子であることが判明した。SCR-2のORF(Open Reading Frame)の塩基配列および同塩基配列より推定されるアミノ酸配列を配列番号8に示す。アミノ酸配列のみを配列番号9に示す。

Gpc-1のヒト塩基配列は、GenBankデータベースに登録番号AX020122で登録されている。AX020122のORFの塩基配列および同塩基配列より推定されるアミノ酸配列を配列番号10に示す。アミノ酸配列のみを配列番号11に示す。

SCR-2の造血幹細胞または造血前駆細胞支持活性評価を以下のように行った。

(1) マウスSCR-2発現レトロウイルスベクターの構築

SCR-2のORFの塩基配列に基づいてレトロウィルスベクタークローニング用に、下記の塩基配列を有するSCR-2FsalおよびSCR-2Recoプライマーを作製し、OP9 cDNAをテンプレートに用いてPCRを実施した。

SCR-2Fsal

CCGGTCGACCACCatggaactecggacecgaggetgg (配列番号30)

SCR-2Reco

CCGAATTCttaccgccacctgggcctggctge (配列番号31)

増幅断片を制限酵素EcoRIとSallで消化し、電気泳動の後、JETSORB(独国Genome

d社)を用いてDNA断片の精製を行った。精製DNA断片を、同様にEcoRIおよびXhoIで消化したpMX-IRES-GFPベクター(東大医科研、北村俊雄教授より分与)と連結した。pMX-IRES-GFPベクターは、レトロウイルスベクターpMXにIRES (Internal Ribosome Entry Site)、および、GFP (Green Fluorescence Protein)をコードする配列を挿入したプラスミドである。IRES (Internal Ribosome Entry Site)は、mRNAの途中からリボゾームがアクセスできる。したがい、発現ベクターを構築するときにつの転写単位の中にIRESを挟んで上流、下流に遺伝子を繋げることで、一つのmRNAから二つの遺伝子を発現させることが可能となる。上記プラスミドでは、上流にSCR-2のcDNAが挿入され、下流に蛍光蛋白質であるGFP (Green Fluorescence Protein)をコードする配列が挿入されており、GFPの発現状況をFACSで検出することによって、SCR-2の発現をモニターすることができる。

得られた組換えベクターを大腸菌DH5 α に遺伝子導入し、100 μ g/mlアンビシリンを含むLB寒天培地に蒔き、単一コロニーを形成させた。単離したコロニーを100 μ g/mlアンビシリンを含むLB培地100mlで培養後、QIAGENtip100 (米国QIAGEN社) を用いてプラスミドの精製を行った。挿入遺伝子の配列を常法にしたがって決定し、 $SCR-2\sigma$ ORFの塩基配列と一致していることを確認した。

(2) SCR-2強発現ストローマ細胞の作製

コラーゲンタイプ I コート60mm dish (旭テクノグラス社) に 2×10^6 個のBOSC23 細胞を蒔き、37°C、5% CO_2 、湿度100%の条件下、10% FCSを含むDMEM培地で培養を開始し、 $12\sim18$ 時間後に前記培地をOPTI MEM培地 (GIBCO BRL社) 2m1で置換した。

前記のpMX-IRES-GFPにSCR-2を挿入したプラスミド約3μgを、OPTI MEM培地100μlで希釈したLIPOFECTAMINE Reagent (GIBCO BRL社) 18μlに加え、30分室温に静置した。調製したDNA溶液を上記で用意したBOSC23細胞培養液中に添加した。約5時間後に2mlの20% FCSを含むDMEM培地 (GIBCO BRL社)を添加した。

約24時間後に、培地を10%FCS入りDMEM 4m1に置換し、さらに約48時間後に培養液を回収した。培養液を $0.45\,\mu$ mフィルターでろ過後、1200gで16時間遠心し、培養上清を捨てることでウイルス沈殿を取得した。

AGM-s3-A7あるいはAGM-s3-A9細胞を24wellプレート (FALCON社) に 1×10^4 個ずつ、

10% FCSを含むMEM α 培地(GIBCO BRL社)1ml中で培養した。12~18時間後に、ウイルス沈殿を1mlの10% FCSを含むMEM α 培地に懸濁し、ストローマ細胞培養液とウィルス懸濁液を置換した。さらにPOLYBRENE(シグマ、SEQUA-BRENE)を 10μ g/mlになるように添加し、培養皿を700gで45分遠心後、37°C、5% CO $_2$ 、湿度 1 O O %の条件下で培養した。48時間後、培地を10% FCSを含むMEM α 培地1mlに置換し、さらに24時間後、6wellプレート(FALCON社)に継代し10% FCSを含むMEM α 培地3mlで培養した。継代48時間後、セルソーター(FACSVantage、Becton Dickinson社)にてストローマ細胞の6FP発現を確認し、8 O %以上の細胞が5CR-2を発現していることを間接的に確認した。

また、pMX-IRES-GFPにSCR-2を挿入したブラスミドの代わりにpMX-IRES-GFPベクターを用いて同様の操作を行い、コントロールベクターを導入したストローマ細胞を調製した。

(3) ヒト造血幹細胞とSCR-2強発現ストローマ細胞との共培養、ならびに、コロニーアッセイによる造血幹細胞および造血前駆細胞の増殖状況の評価

実施例1の(III)(1)3)~4)に記載のようにして、レトロウイルスによりSCR-2を強発現させたAGM-s3-A9細胞もしくはAGM-s3-A7細胞、コントロールベクターを導入したAGM-s3-A9細胞もしくはAGM-s3-A7細胞、または、AGM-s3-A9細胞もしくはAGM-s3-A7細胞をよけ、AGM-s3-A9細胞もしくはAGM-s3-A7細胞をより造血幹細胞をよび造血前駆細胞の増殖状況を評価した。

図4に、CD34陽性造血幹細胞と、SCR-2を強発現するAGM-s3-A9 (A9/SCR-2)、コントロールベクターを導入したAGM-s3-A9 (A9/pMXIG)またはAGM-s3-A9 (A9)とを2週間共培養したときの結果を示す。また、図5にSCR-2を強発現するAGM-s3-A7、コントロールベクターを導入したAGM-s3-A7またはAGM-s3-A7とを2週間共培養したときの結果を示す。この結果、SCR-2強発現AGM-s3-A9またはSCR-2強発現AGM-s3-A7で共培養により、BFU-EおよびCFU-Cの増加が認められた。従い、SCR-2を強発現することにより、AGM-s3-A9あるいはAGM-s3-A7の造血幹細胞あるいは造血前駆細胞の支持活性が増強されることが示された。この結果から、SCR-2の遺伝子産物は、造血幹細胞または造血前駆細胞の増殖、生存を支持する活性を有するあるいはストロ

ーマ細胞に作用し造血細胞支持活性を増強または付与する活性を有することが明 らかとなった。

実施例3 SCR-3のクローニングおよび活性評価

配列番号 2 の塩基配列に関し、GenBankデータベースをBLASTを用いて検索することで、SCR-3は、登録番号U15209、Mus musculus chemokine MMRP2 mRNA,、U19482、Mus musculus C10-like chemokine mRNA、および、U49513、Mouse macrophage inf lammatory protein-lgamma mRNAのマウス遺伝子と同一の遺伝子であることが判明した。SCR-3のORFの塩基配列および同塩基配列より推定されるアミノ酸配列を配列番号 1 2 に示す。アミノ酸配列のみを配列番号 1 3 に示す。

SCR-3の造血幹細胞または造血前駆細胞支持活性評価を以下のように行った。

(1) マウスSCR-3発現レトロウイルスペクターの構築

SCR-3のORFの塩基配列に基づいてレトロウィルスベクタークローニング用に、下記の塩基配列を有するSCR-3FxhoIおよびSCR-3Reco配列のプライマーを作製し、AGM-s3-A9 cDNAをテンプレートに用いてPCRを実施した。増幅断片を、実施例2の(1)と同様の方法によりレトロウィルスベクターpMX-IRES-GFPに挿入した。

SCR-3FxhoI

ccgCTCGAGeeaecATGAAGCCTTTTCATACTGCC (配列番号 3 2)

SCR-3Reco

tecGAATTCttattgtttgtaggteegtgg (配列番号33)

(2) SCR-3強発現ストローマ細胞株の作製

上記のレトロウィルスベクターを用いて、実施例2の(2)と同様にしてSCR-3 強発現AGM-s3-A7細胞を作製した。

(3) SCR-3強発現ストローマ細胞の造血幹細胞支持活性の評価

AGM-s3-A7細胞、レトロウイルスによりSCR-3を強発現させたAGM-s3-A7細胞、ならびに、コントロールベクターを導入したAGM-s3-A7細胞を、それぞれ、 1×10^5 個ずつ24ウェルの培養皿に播種することの他は、実施例1の(III)(2)と同様にし

て造血幹細胞支持活性の評価を行った。

結果を図6に示す。SCR-3を強発現するAGM-s3-A7細胞と共培養した造血幹細胞(A7/SCR-3)は移植後、それぞれの親株またはコントロールベクターを導入した細胞と共培養した造血幹細胞(A7またはA7/pMXIG)に比べて、レシピエント個体で高いキメリズムを示した。この高いキメリズムは2ヶ月後の骨髄球系およびリンパ球系細胞で確認され、放射線照射マウスの体内で造血系を再構築できる造血幹細胞および造血前駆細胞が、共培養期間中に、SCR-3を導入されていない細胞との共培養と比べて優位に維持・増幅されていたことが判明した。/この結果から、SCR-3の強発現により、ストローマ細胞の造血幹細胞または造血前駆細胞の生存、増殖支持能が増強されることが示された。したがい、SCR-3の発現産物は造血幹細胞または造血前駆細胞に作用し、その生存あるいは増殖を支持する活性を有する、あるいは、ストローマ細胞に作用し造血幹細胞支持活性を増強または付与する活性を有することが明らかになった。

実施例4 SCR-4のクローニングおよび活性評価

配列番号3の塩基配列に関し、GenBankデータベースをBLASTを用いて検索したところ、SCR-4は、登録番号AF131820 Homo sapiens clone 25077 mRNAと高い相同性が確認され、SCR-4はAF131820のマウスオーソログと判明した。また、この配列はW 0 00/66784に記載されている。

AF131820のORFの塩基配列および同塩基配列より推定されるアミノ酸配列を配列 番号16に示す。アミノ酸配列のみを配列番号17に示す。

その塩基配列およびその塩基配列においてORFと考えられる塩基配列から推定されるアミノ酸配列を配列番号14に示す。アミノ酸配列のみを配列番号15に示す。 SCR-4の造血幹細胞または造血前駆細胞支持活性評価を以下のように行った。

(1) ヒトSCR-4発現レトロウイルスベクターの構築

胎児肝臓由来メッセンジャーRNA(米国CLONTECH社)3μgより、オリゴd T プライマー、逆転写酵素 (SuperscriptII、GIBCO-BRL社)を用いてcDNAを合成した。本 cDNAを鋳型として、ヒトSCR-4のORF領域を下記の塩基配列を有するプライマーHSCR

-4FxhoおよびHSCR-4RecoRVでPCR増幅し、XhoIで消化した後に、実施例2 (1) と同様の方法によりレトロウィルスベクターpMX-IRES-GFPに挿入した。その際、pMX-IRES-GFPは制限酵素EcoRIで消化の後、KOD DNA合成酵素(東洋紡日本国)を用いて平滑化した後に制限酵素XhoIで消化した。

HSCR-4FxhoI

CCGCTCGAGCCACCatgttggctgcaaggetggtgt (配列番号34)

HSCR-4RecoRV

CCGGATATCtcatttctttctgttgcctcca (配列番号35)

(2) ヒトSCR-4強発現ストローマ細胞株の作製

上記のレトロウィルスベクターを用いて、実施例2の(2)と同様にしてヒトSC R-4強発現AGM-s3-A9細胞を作製した。

(3) ヒト造血幹細胞とヒトSCR-4強発現ストローマ細胞との共培養、ならびに、コロニーアッセイによる造血幹細胞および造血前駆細胞の増殖状況の評価

実施例1の(III)(1)3)~4)に記載のようにして、レトロウイルスによりSCR-4を強発現させたAGM-s3-A9細胞、コントロールベクターを導入したAGM-s3-A9細胞、または、AGM-s3-A9細胞細胞を、CD34陽性ヒト臍帯血由来造血幹細胞と共培養し、コロニーアッセイにより造血幹細胞および造血前駆細胞の増殖状況を評価した。

図7に、CD34陽性造血幹細胞と、ヒトSCR-4を強発現させたAGM-s3-A9、コントロールベクターを導入したAGM-s3-A9、または、AGM-s3-A9とを2週間共培養したときの結果を示す。この結果、ヒトSCR-4強発現AGM-s3-A9との共培養により、BFU-E、ならびにCFU-Cの増加が認められた。従い、ヒトSCR-4を強発現することにより、AGM-s3-A9の造血幹細胞あるいは造血前駆細胞の支持活性が増強されることが示された。この結果から、ヒトSCR-4は、造血幹細胞または造血前駆細胞の増殖、生存を支持する活性を有するあるいはストローマ細胞に作用し造血細胞支持活性を付与する活性を有することが明らかとなった。

実施例5 SCR-5のクローニングおよび活性評価

SBH解析で得られた配列番号4の塩基配列には、ORFの存在が推測された。ORFの塩基配列および同塩基配列より推定されるアミノ酸配列を配列番号18に示す。アミノ酸配列のみを配列番号19に示す。

配列番号 1 8 の塩基配列に関し、GenBankデータベースをBLASTを用いて検索したところ、登録番号AF325503 Homo sapiens esophageal cancer related gene 4 protein (ECRG4) mRNAと高い相同性が確認され、SCR-5はAF325503のマウスオーソログと判明した。

AF325503のORFの塩基配列および同塩基配列より推定されるアミノ酸配列を配列番号20に示す。アミノ酸配列のみを配列番号21に示す。

SCR-5の造血幹細胞または造血前駆細胞支持活性評価を以下のように行った。

(1) マウスSCR-5発現レトロウイルスベクターの構築

SCR-5のORFの配列に基づいてレトロウィルスベクタークローニング用に、下記の塩基配列を有するSCR-5FxhoIおよびSCR-5Rbluntプライマーを作製し、配列番号23の塩基配列を有するDNAをテンプレートに用いてPCRを実施し、増幅断片を制限酵素XhoIで消化後、実施例2の(1)と同様の方法によりレトロウィルスベクターpMX-IRES-GFPに挿入した。その際、pMX-IRES-GFPは制限酵素KcoRIで消化の後、KODDNA合成酵素(東洋紡日本国)を用いて平滑化した後に制限酵素XhoIで消化した。

SCR-5Fxhol

eegCTCGAGeeaecatgagcacctcgtctgegeg (配列番号36)

SCR-5Rblunt

teeGTTAACttaatagtcatcatagttca (配列番号37)

(2) SCR-5強発現ストローマ細胞株の作製

上記のレトロウィルスベクターを用いて、実施例2の(2)と同様にしてSCR-5 強発現AGM-s3-A7細胞を作製した。

(3) SCR-5強発現ストローマ細胞の造血幹細胞支持活性の評価

実施例3の(3)と同様にして造血幹細胞支持活性の評価を行った。

結果を図8に示す。SCR-5を強発現するAGM-s3-A7細胞と共培養した造血幹細胞(A7/SCR-5)は移植後、それぞれの親株あるいはコントロールベクターのみを発現させた細胞と共培養した造血幹細胞(A7もしくはA7/pMXI6)に比べて、レシピエント個体で高いキメリズムを示した。この高いキメリズムは2ヶ月後の骨髄球系およびリンパ球系細胞で確認され、放射線照射マウスの体内で造血系を再構築できる造血幹細胞および造血前駆細胞が、共培養期間中にSCR-5を導入されていない細胞より優位に維持・増幅されていたことが判明した。この結果から、SCR-5の強発現により、ストローマ細胞の造血幹細胞あるいは造血前駆細胞の生存、増殖支持能が増強されることが示された。したがい、SCR-5の遺伝子産物は造血幹細胞または造血前駆細胞に作用し、その生存あるいは増殖を支持する活性を有する、あるいは、ストローマ細胞に作用し造血幹細胞支持活性を増強または付与する活性を有することが明らかになった。

実施例 6 SCR-6のクローニングおよび活性評価

配列番号5の塩基配列をもとにプローブを作製し、AGM-s3-A9 cDNAをハイブリダイゼーションによりスクリーニングすることで、マウスSCR-6のORFを含む遺伝子を取得した。

AGM-S3-A9細胞 1.4×10^8 個を1SOGEN(日本国ニッポンジーン)20m1に溶解し、添付文書に従ってトータルRNAを調製した。トータルRNA 1mgを用いて、mRNA purification kit (米国Amersham Pharmacia社)のプロトコルに従い、メッセンジャー<math>RNAを調製した。調製したメッセンジャーRNA 2mgより、SMART cDNAライブラリー作製キット(米国CLONTECH)を用いて、添付文書に従ってcDNAライブラリーを15画分に分けて作製した。本ライブラリーは、独立なクローンを合計で約40万種類含んでいた。各画分について以下の条件にCPCRを実施し、CRC-6 cDNAを含む画分を同定した。

マウスSCR-6部分遺伝子断片の配列に基づいて以下のプライマーを合成し、AGM-S3-A9cDNAライブラリー各画分を鋳型として、9.4%、3.0 秒、5.5%、3.0 秒、

72℃、1分からなる工程を1サイクルとして35サイクルのPCRを実施した。SCR-6F

AGCTCATTACTGTATATTA(配列番号 2 2 : 1983-2002) (配列番号 3 8) SCR-6R

GCTATATTTCATAAGTCATC(配列番号22:2342-2361) (配列番号39)

PCR産物を2%アガロースゲルにて電気泳動し、予想されるサイズのPCR産物が得られた画分を同定した。陽性画分のうち2画分について、15cmのシャーレに50,000 ブラークずつ各2枚蒔き、37℃で10時間保温した後、Biodyne(米国Pall社)ナイロンフィルターに各1枚ずつプラークを写しとった。転写したナイロンフィルターに対し添付文書に従ってDNAの固定処理を行い、32P標識したDNAブローブにてスクリーニングを実施した。

ブローブは、以下のようにして調製した。SCR-6FとSCR-6Rを用いて、マウスSCR-6R分遺伝子断片を含むプラスミドを鋳型として、9.4 °C、3.0秒、5.5 °C、3.0秒、7.2 °C、1分からなる工程を1サイクルとして3.5サイクルのPCRを実施した。PCR産物を2.%アガロースゲルにて電気泳動し、増幅断片をJETSORBを用いて精製した。得られたPCR断片25ngを鋳型として、Megaprime labeling kit (米国Amersham Pharmacia社)を用いて、<math>32 P標識したDNAプローブを調製した。

ハイブリダイゼーション及び洗浄は、ExpressHybSolution(米国CLONTECH社)を用いて、添付文書に従って実施し、X線フィルム(日本国フジフィルム)に一日間露光し、フジフィルム自動現像機にて現像し、結果を解析した。その結果、強く露光された部分に相当する位置のプラークをシャーレから掻き取り、10cmシャーレに200個程度のプラークが出るように再度蒔き直した。上記方法にて再度スクリーニングを実施し、単一のプラークを単離した。得られたクローンについて、SMART cDNAライブラリー作製キットの添付文書に従って大腸菌BM25.8株に感染させ、BM25.8株をin vivo LB寒天培地上で培養しコロニーを形成させた。単一コロニーでの切り出しを実施し、感染大腸菌を、50μg/mlのアンビシリンを含むLB培地3mlに植菌し、30℃で一夜培養したのち、RPM Kit(米国B10101)にてプラスミドを抽出し、約10mgのプラスミドを取得した。

挿入断片の両端を、 λ TriplEx5'LD-Insert Screening Amplimer (CTCGGGAAGCGCG CCATTGTGTTGGT (配列番号 4 0):米国CLONTECH) を用いて、 λ B1377 DNAシーケンサーにより配列決定したところ、配列番号 5 の 1 番目以降の塩基配列を含むcDNAを含むことが判明した。さらに λ B1377 DNAシーケンサーを用いて全長の塩基配列を決定した。その塩基配列およびその塩基配列において λ B1377 DNAシーケンサーを用いて全長の塩基配列を決定した。

SCR-6の造血幹細胞または造血前駆細胞支持活性評価を以下のように行った。

(1) マウスSCR-6発現レトロウイルスベクターの構築

SCR-6のORFの塩基配列に基づいてレトロウィルスベクタークローニング用に、下記の塩基配列を有するSCR-6FxhoIおよびSCR-6Recoプライマーを作製し、配列番号22の塩基配列を有するDNAをテンプレートに用いてPCRを実施し、増幅断片を実施例2の(1)と同様の方法によりレトロウィルスベクターpMX-IRES-GFPに挿入した。

SCR-6Fxhol

cegetegagecaecATGCGTTTTTGCCTCTTCTC (配列番号41)

SCR-6Reco

cggaattcTTATTGGTTCACTCTGTCTG (配列番号 4 2)

(2) SCR-6高発現ストローマ細胞株の作製

上記のレトロウィルスベクターを用いて、実施例2の(2)と同様にしてSCR-6 強発現AGM-s3-A9細胞を作製した。

(3) ヒト造血幹細胞とSCR-6強発現ストローマ細胞との共培養、ならびに、コロニーアッセイによる造血幹細胞および造血前駆細胞の増殖状況の評価

実施例1の(III)(1)3)~4)に記載のようにして、レトロウイルスによりSCR-6を強発現させたAGM-s3-A9細胞、コントロールベクターを導入したAGM-s3-A9細胞、または、AGM-s3-A9細胞を、CD34陽性ヒト臍帯血由来造血幹細胞と共培養し、

コロニーアッセイにより造血幹細胞および造血前駆細胞の増殖状況を評価した。

図9に、CD34陽性造血幹細胞と、SCR-6を強発現させたAGM-s3-A9(A9/SCR-6)、コントロールベクターを導入したAGM-s3-A9(A9/pMXIG)またはAGM-s3-A9(A9)とを2週間共培養した結果を示す。この結果、SCR-6発現AGM-s3-A9との共培養により、BFU-E、ならびにCFU-Cの増加が認められた。従い、SCR-6を強発現することにより、AGM-s3-A9の造血幹細胞あるいは造血前駆細胞の支持活性が増強されることが示された。この結果から、SCR-6の遺伝子産物は、造血幹細胞または造血前駆細胞の増殖、生存を支持する活性を有するあるいはストローマ細胞に作用し造血細胞支持活性を増強または付与する活性を有することが明らかとなった。

実施例7 SCR-7のクローニングおよび活性評価

SBH解析で得られた配列番号6の塩基配列には、ORFの存在が推測された。ORFの塩基配列および同塩基配列より推定されるアミノ酸配列を配列番号24に示す。アミノ酸配列のみを配列番号25に示す。

SCR-7の造血幹細胞または造血前駆細胞支持活性評価を以下のように行った。

(1) マウスSCR-7発現レトロウイルスベクターの構築

SCR-7のORFの塩基配列に基づいてレトロウィルスペクタークローニング用に、下記の塩基配列を有するSCR-7FsalIおよびSCR-7Recoのプライマーを作製し、配列番号 24の塩基配列を有するDNAをテンプレートに用いてPCRを実施し、増幅断片を実施例 2 の(1)と同様の方法によりレトロウィルスペクターpMX-IRES-GFPに挿入した。

SCR-7FSalI

acgcgtcgacccaceATGCCCCGCTACGAGTTG (配列番号43)

SCR-7Reco

attGAATTCTCACTTCTTCCTCCTCTTTG (配列番号44)

(2) SCR-7高発現ストローマ細胞株の作製

上記のレトロウィルスベクターを用いて、実施例2の(2)と同様にしてSCR-7

強発現AGM-s3-A9細胞を作製した。

(3)ヒト造血幹細胞とSCR-7強発現ストローマ細胞との共培養、ならびに、コロニーアッセイによる造血幹細胞および造血前駆細胞の増殖状況の評価

実施例1の(III)(1)3)~4)に記載のようにして、レトロウイルスにより SCR-7を強発現させたAGM-s3-A9細胞、コントロールベクターを導入したAGM-s3-A9細胞、または、AGM-s3-A9細胞を、CD34陽性ヒト臍帯血由来造血幹細胞と共培養し、コロニーアッセイにより造血幹細胞および造血前駆細胞の増殖状況を評価した。

図10に、CD34陽性造血幹細胞と、SCR-7を強発現するAGM-s3-A9(A9/SCR-7)、コントロールベクターを導入したAGM-s3-A9(A9/pMXIG)、または、AGM-s3-A9(A9)と2週間共培養したときの結果を示す。この結果、SCR-7強発現AGM-s3-A9との共培養により、BFU-E、ならびにCFU-Cの増加が認められた。従い、SCR-7を強発現することにより、AGM-s3-A9の造血幹細胞あるいは造血前駆細胞の支持活性が増強されることが示された。この結果から、SCR-7の遺伝子産物は、造血幹細胞または造血前駆細胞の増殖、生存を支持する活性を有する、あるいはストローマ細胞に作用し造血細胞支持活性を増強または付与する活性を有することが明らかとなった。

実施例8 SCR-8のクローニングおよび活性評価

配列番号7の塩基配列に関し、GenBankデータベースをBLASTを用いて検索することで、SCR-8は、登録番号AB009673 Mus musculus mRNA for ADAM23、と同一の遺伝子であることが判明した。SCR-8のORFの塩基配列および同塩基配列より推定されるアミノ酸配列を配列番号26に示す。アミノ酸配列のみを配列番号27に示す。

また、JP11155574-Aに記載されたHuman MDC3 protein. [Homo sapiens]のコード する配列は、SCR-8と90%以上の相同性を示し、SCR-8のヒトオーソログ遺伝子である。このORFの塩基配列および同塩基配列より推定されるアミノ酸配列を配列番号 28に示す。アミノ酸配列のみを配列番号 29に示す。

SCR-8の造血幹細胞または造血前駆細胞支持活性評価を以下のように行った。

(1) マウスSCR-8発現レトロウイルスベクターの構築

SCR-8のORFの塩基配列に基づいてレトロウィルスベクタークローニング用に下

記の塩基配列を有するSCR-8FxhoおよびSCR-8Recoプライマーを作製し、AGM-s3-A9 cDNAをテンプレートに用いてPCRを実施し、増幅断片を実施例2の(1)と同様の 方法によりレトロウィルスベクター<math>pMX-IRES-GFPに挿入した。

SCR-8FxhoI

ccgctcgagccaccATGAAGCCGCCCGGCAGCATC (配列番号 4 5)

SCR-8Reco

cggaattcTCAGATGGGGCCTTGCTGAGT (配列番号46)

(2) SCR-8高発現ストローマ細胞株の作製

上記のレトロウィルスベクターを用いて、実施例2の(2)と同様にしてSCR-8 強発現AGM-s3-A9細胞を作製した。

(3) ヒト造血幹細胞とSCR-8強発現ストローマ細胞との共培養、ならびに、コロニーアッセイによる造血幹細胞および造血前駆細胞の増殖状況の評価

実施例1の(III)(1)3)~4)に記載のようにして、レトロウイルスによりSCR-8を強発現させたAGM-s3-A9細胞、コントロールベクターを導入したAGM-s3-A9細胞、または、AGM-s3-A9細胞を、CD34陽性ヒト臍帯血由来造血幹細胞と共培養し、コロニーアッセイにより造血幹細胞および造血前駆細胞の増殖状況を評価した。

図11に、CD34陽性造血幹細胞と、SCR-8を強発現するAGM-s3-A9、コントロールベクターを導入したAGM-s3-A9、または、AGM-s3-A9とを2週間共培養したときの結果を示す。この結果、SCR-8発現AGM-s3-A9との共培養により、BFU-EおよびCFU-Cの増加が認められた。従い、SCR-8を強発現することにより、AGM-s3-A9の造血幹細胞あるいは造血前駆細胞の支持活性が増強されることが示された。この結果から、SCR-8の遺伝子産物は、造血幹細胞または造血前駆細胞の増殖、生存を支持する活性を有する、あるいはストローマ細胞に作用し造血細胞支持活性を増強または付与する活性を有することが明らかとなった。

SEQUENCE LISTING

<110> KIRIN BEER KABUSHIKI KAISHA <120> 造血幹細胞または造血前駆細胞の増殖または生存を支持し得るポリペプチドおよび それをコードするDNA <130> OP1197 <160> 46 <170> PatentIn version 3.0 <210> 1 <211> 343 <212> DNA <213> Mus musculus <400> 1 60 cctatggcgg caacgacgtg gacttccagg atgctagtga tgacggcagt ggctccggca geggtggegg atgeceagat gacacetgtg geeggagggt cageaagaag agttecaget 120 180 cccggacccc cttgacccat gccctccccg gcctgtcaga acaggaggga cagaagacct cagetgeeac etgeecagag ceceacaget tetteetget ettectegte acettggtee 240 ttgcggcagc caggcccagg tggcggtaac tgcccctat cccagacagt aactctgagt 300 343 gctgcggcag ggtgcatgga ggggtccctc cctccttgag tcg <210> 2 <211> 546 <212> DNA <213> Mus musculus <400> 2 60 tgtaccccag ggacttcctg atcctcttac atgtataaat agcaagaccg ggccaggaac

agcaagcagt ctgaaggcca gctgggtctg cccactaaga agatgaagcc ttttcatact

gccctctcct tcctcattct tacaactgct cttggaatct gggcccagat cacacatgca

acagagacaa aagaagtcca gagcagtctg aaggcacagc aagggcttga aattgaaatg

tttcacatgg gctttcaaga ctcttcagat tgctgcctgt cctataactc acggattcag

120

180

240

tgttcaagat ttataggtta ttttcccacc agtggtgggt gtaccaggcc gggcatcatc 360
tttatcagca agagggggtt ccaggtctgt gccaacccca gtgatcggag agttcagaga 420
tgcattgaaa gattggagca aaactcacaa ccacggacct acaaacaata acatttgctt 480
gaagagaagg gtgtgaactg ccagctactt tctttggtct tccccagtga ccacctaagt 540
ggctct 546

<210> 3

<211> 1223

<212> DNA

<213> Mus musculus

<400> 3

gtgacccgga agggagcccc gtggtagagg tgaccggagc tgagcatttc agatctgctt 60 agtaaaccgg tgtatcgccc accatgttgg ctgcaaggct tgtgtgtctc cggacactac 120 cttccagggt tttccagccc actttcatca ccaaggcctc tccacttgtg aagaattcca 180 tcacaaagaa ccaatggctc gtaacaccca gcagggaata tgctaccaag acaagaatta 240 ggactcaccg tgggaaaact ggacaagaac tgaaagaggc agccttggaa ccatcaatgg 300 aaaaaatctt taaaatcgat caaatgggaa ggtggtttgt tgctggagga gcagctgttg 360 gtottggago gototgotao tatggottgg gaatgtotaa tgagattgga gotatogaaa 420 480 aggetgtaat ttggeeteag tatgtaaagg atagaattea ttetaettae atgtaettag caggaaggta ttgtttaaca gctttgtctg ccttggcagt agccagaaca cctgctctca 540 tgaacttcat gatgacaggc tettgggtga caattggtge gacetttgca gecatgattg 600 gagetggaat gettgtacae teaatateat atgageagag eecaggeeca aageatetgg 660 cttggatget geattetggt gtgatgggtg cagttgtgge teetetgaeg atettagggg 720 ggcctcttct cctgagagcc gcatggtaca ccgctggtat tgtgggaggc ctctctactg 780 tggccatgtg tgcgcctagt gagaagtttc tgaacatggg agcacccctg ggagtgggcc 840 tgggtcttgt ctttgcgtct tctctggggt ctatgtttct tccccctacc tctgtggctg 900 gtgccactct gtactcagtg gcaatgtatg gtggattagt tetttcage atgtteette 960
tgtatgatac teagaaagta ateaaacgtg cagaaataac acceatgtat ggageteaaa 1020
agtatgatee cateaatteg atgttgacaa tetacatgga tacattaaat atatttatge 1080
gagttgcaac tatgetagea actggaagea acagaaagaa atgaagtaac egettgtgat 1140
gteteegete actgatgtet tgettgtta ataggageag atagteatta cagtttgeat 1200
cagcagaatt eeegegege ege 1223

<210> 4

<211> 839

<212> DNA

<213> Mus musculus

<400> 4

getgtgeetg geateagtet tgeeetetee cetttggeea egeggeeett eteagegatt 60 tgcagcagac ccgcagggca gtgtgcctcg gtggcattga actgaagctt ggctctcggc 120 180 etggeetget ggetagttge ceaccetgtg ggteeegeee agageaagga tactggaget 240 ttegectgec teactgagec tgggteteca etecagteat ecetecaget aetttgeage 300 actotytogo catgagoaco togtotycgo gycotycayt cotygocott gcogyyotyy 360 ctctgctcct tctgctgtgc ctgggtccag atggcataag tggaaacaaa ctcaagaaga tgctccagaa acgagaagga cctgtcccgt caaagactaa tgtagctgta gccgagaaca 420 480 cagcaaagga attectaggt ggcctgaage gtgccaaacg acagctgtgg gaccgtacge 540 ggcctgaggt acagcagtgg taccagcagt tectetacat gggctttgat gaggctaaat 600 ttgaagatga tgtcaactat tggctaaaca gaaatcgaaa cggccatgac tactatggtg 660 actactacca gogtcattat gatgaagatg oggccattgg tooccacago ogggaaagot 720 teaggeatgg agreagtgtg aactatgatg actattaage tteetgaggt geccaeagag cttgtgcctg cttcagtagg ccttctctac ctataccacg tgaccatcag gctaaaggaa 780 agaatataag tgctttttgc atttcatgca tgtgcttaac gatatgtctc acttaaaaa 839 <210> 5 <211> 1420 <212> DNA

<213> Mus musculus

<400> 60 cctgtgccta ttttgatgga tggcaatgct aagcaagcaa gcactgttca cttgtgactt tcatttctca cactgtgcac tgtcaaagac aaatgtgcat ggaaaaatgt ttagtgtcac 120 180 ctcatggcgt tctcagcatc agtgaccttc aaacggtcct acaatgagac tgtgttctag ctaggggtat gctgtggaaa ttcctgctac atttcatctt agtgctaaca tgtacagatt 240 ctgctgcgct acattcaaag ctcattactg tatatttatg ctttctctgt gtaacaagtt 300 360 atacctgata agatgtcact ttgtttctag tgattcttaa ccatggtctg gtacatggct 420 attctagttt tggaaattaa caagtgtttt gttgcctctt gttttctttt gttcctatca tttttggcgg gggttgggtg ggcttgattc taaccgtaag tataggataa gctagttttg 480 540 tatatagagt caaatgactg atgtcagagg atcagtgctg atagaacttc cccagttcat gtcacgatac acacagagag aaagcagcat gaggcatctt gccatcagaa gccaaattte 600 tittgagtcc caaaattgat gacttatgaa atatagctga aaacaagatt tgggtgtagt 660 720 tacttgtatt tattatacaa tttccaatta cattttttt caaactcaaa ataacccatg actttgagtg ataggtcact tggcaatgtt cttgaattac tggggaagct gttgtcacta 780 840 agataatgag agagaaaata gaatggcttc gcccaagtga gagccacatc ttacatttct ctgttgaatc ggaatcaact atattagaac agaagcctga tagaagcttt ctagttaaca 900 cacacaagge catggtttea aaaacatett tgteceetta ggteagtttg teettagatt 960 1020 atgaattggc aggitctaat tgcattattt ccctggctga tccaggaaaa agttagaaca 1080 1140 cattggcaaa actacctett tagcatttat gttgattcag aaacatcttg ctgatatgtg tagatgtttt aagcttcatt gtgaaaatat tgatgcaaga taagccatat atgaatgttg 1200 tattcaactt tagggcttga aattaatcct aaagtgttca cetetecca tgtctattta 1260

<210> 6 <211> 763

<212> DNA

<213> Mus musculus

<400> 6

60 congecting egacologies totologies toggegongs caacetgage gatacconge 120 tacgagttgg ctttgattct gaaagccatg cggcggccag agaccgctgc tgctttgaaa 180 cgtacaatag aatccctgat ggaccgagga gccatagtga ggaacttgga aagcctgggt 240 gagogtgogo toccotacag gatotogagt cacagocago agcacagoog aggagggtat 300 ttcctggtgg atttttatgc tccgacaagt gctgtggaga acatactgga acacttggcg 360 cgagacattg acgtggttag accaeatatt gtgaaacacc ctctgaccca ggaagtaaaa 420 gagtgtgacg gcatagtccc agtcccactt gaagaaaaac tgtattcaac aaagaggagg aagaagtgag aagattcacc agattctggc cttatattta atcctaaggg cactatgggt 480 540 gctgctaggt tgttgtctag gatactttag cccatgacca ttttgctgca ggaggtagaa actgctggcc gagacctgcc ctgatgtctc tgctgagatt tcatcccact tgtggggttt 600 gtcgggagtg ggggtgttca cagtaccact gtagcgtttc caagagcaaa atgtttgtca 660 720 ttcacacttg gttgtcttgc aagcctatat ggaacactgg gagcagagta ataaacatga 763

<210> 7

<211> 1300

<212> DNA

<213> Mus musculus

<400> 7

ggtatgcagt ctttcgcttg aatttgctgt ttgtttatat agtaataaca gcgctatcta 60

taaggettac tggccttatt cetggtteea taagacacag getgtacece tttactgaat 120 180 ggcatgggct cagcttggag gaaagtcaga ggaaattcag ataacttggt atctcttcct 240 gtogttgcaa tgtttogggg tocacttoac tatgagatac caagcagotg ccaacctoac 300 catactcatt tegttacaat ttetgaggea eegtggtgae ttgateegae atacgaecae 360 gtcagttaca aaccagatct ttatggttaa cttttgaaca tttcacaaac aacattgtaa 420 atgtgcgatg ttatgtttta aatcagacca cagtggtccc caaatattat gtacatatga 480 caaatgtcag tgtaactttt tgttacactg acagtttcat aggtaaacaa acctacgctc 540 caatgttaaa ttatgcttgt gtatgtaaaa tacacaagca ttgggctatg tgtgtacgga 600 catgagggta gtgcaatcgt actgtacgaa atgggtcaga atcattttca gtggtgttag gttatgtagt ttcagactcc atgctgcatt ttctcttgca catgccatcc atttgcttat 660 720 tttggagtgt gagtattcct tcttattaat ttgaattcaa agcacaagcc tcccattgtt 780 caacattacc caacaagagt gtccagtgat gaccgagtta tctcacctgc tatactttta ctgcaataat taatgacacc tggatgagga ggcgtgcgct gacttcattg ttcacccggg 840 atagtgcatg agcccactga attagagctg cttctaccag caaaagtgag cagtacacat 900 960 aggtgcatgt ttgaaacatg aatcacatag agctatggag ttttgccaag tgatgtgttt 1020 1080 ctttttttt tttttacta tgcaaagatg ggaaatgcac aaacttccaa gacatgtctg aagaacttta caatacttga atttttctt taatcatccc atcacattta tggcattgat 1140 gcttccattg tattttctt ttgtcccttc aacttcaatg gtttgtaatt tcaatgcaca 1200 1260 acctaacttt tgtttgcagt aacttccaat cctattggct gcctggaacg gagattctgt catectacae geatetttta gttgactgtg cataaaagtt 1300

<210> 8

<211> 1674

<212> DNA

<213> Mus musculus

<220> <221> CDS <222> (1).	.(1671)				
			ctg ctg tgc gcg Leu Leu Cys Ala 10		48
			gec age aag age Ala Ser Lys Ser		96
			aag ggc ttt agc Lys Gly Phe Ser 45		144
			cac ctg cgg ato His Leu Arg Ile 60		192
			gag gag aat ttg Glu Glu Asn Leu 75		240
			cat gac agc agc His Asp Ser Ser 90		288
			ggc atc gat gad Gly Ile Asp Asp		336
	ı Asn Asp Ser		ctg cag gag gc Leu Gln Glu Ala 12	a Phe Pro Gly	384
			act cgt gcc tt Thr Arg Ala Ph 140		432
		Tyr Tyr Arg	ggg gcc aac ct Gly Ala Asn Le 155		480
			ctg ctg gag cg Leu Leu Glu Ar 170		528

										ctg Leu				576
										gcc Ala				624
										cgt Arg 220				672
										gtg Val				720
-	-		_	_		 _		-	_	ttg Leu	_	_	-	768
									-	ccc Pro		-		816
										gac Asp				864
										act Thr 300				912
										gtg Val				960
		-			-	-	-			gac Åsp				1008
										aat Asn				1056
										gca Ala				1104

			ggt Gly											1152
			att Ile											1200
			atg Met											1248
			aag Lys 420											1296
			atc Ile											1344
-	_		atc Ile											1392
			ggc Gly										gct Ala 480	1440
_	_	_	ggc Gly										Asp	1488
				Arg								Thr	ccc Pro	1536
			Ala				Ser				Gln		acc Thr	1584
	_	Ala		-		Pro				Leu			ctc Leu	1632
	Thr	_	gtc Val		Ala				Trp					1674

<210> 9 <211> 557 <212> PRT <213> Mus musculus <400> 9 Met Glu Leu Arg Thr Arg Gly Trp Trp Leu Leu Cys Ala Ala Ala Ala 5

Leu Val Val Cys Ala Arg Gly Asp Pro Ala Ser Lys Ser Arg Ser Cys 20 25 30

10

Ser Glu Val Arg Gln Ile Tyr Gly Ala Lys Gly Phe Ser Leu Ser Asp

Val Pro Gln Ala Glu Ile Ser Gly Glu His Leu Arg Ile Cys Pro Gln 55 50

Gly Tyr Thr Cys Cys Thr Ser Glu Met Glu Glu Asn Leu Ala Asn His 70 75 65

Ser Arg Met Glu Leu Glu Ser Ala Leu His Asp Ser Ser Arg Ala Leu 90 85 95

Gln Ala Thr Leu Ala Thr Gln Leu His Gly Ile Asp Asp His Phe Gln 100 110

Arg Leu Leu Asn Asp Ser Glu Arg Thr Leu Gln Glu Ala Phe Pro Gly 115 120 125

Ala Phe Gly Asp Leu Tyr Thr Gln Asn Thr Arg Ala Phe Arg Asp Leu 135 140 130

Tyr Val Glu Leu Arg Leu Tyr Tyr Arg Gly Ala Asn Leu His Leu Glu 145 150 155

Glu	Thr	Leu	Ala	61u 165	Phe	Trp	Ala	Arg	Leu 170	Leu	Glu	Arg	Leu	Phe 175	Lys
Gln	Leu	His	Pro 180	G1n	Leu	Leu	Pro	Asp 185	Asp	Tyr	Leu	Asp	Cys 190	Leu	Gly
Lys	Gln	Ala 195	Glu	Ala	Leu	Arg	Pro 200	Phe	Gly	Asp	Ala	Pro 205	Arg	Glu	Leu
Arg	Leu 210	Arg	Ala	Thr	Arg	Ala 215	Phe	Val	Ala	Ala	Arg 220	Ser	Phe	Val	Gln
GTy 225	Leu	Gly	Val	Ala	Ser 230	Asp	Val	Val	Arg	Lys 235	Val	Ala	Gln	Val	Pro 240
	Ala			245					250					255	
			260					265					270		Arg
		275					280					285			Glu
	290					295					300				Trp
305					310					315					Leu 320
				325					330					335	
Lys	i vai	116	340		cys	uly	ASN	345		val	ASN	rro	итs 350		Ser

Gly	Pro	G1u 355	Glu	Lys	Arg	Arg	Arg 360	Gly	Lys	Leu	Ala	Leu 365	G1n	Glu	Lys
Pro	Ser 370	Thr	Gly	Thr	Leu	G1u 375	Lys	Leu	Val	Ser	G1u 380	Ala	Lys	Ala	G1n
Leu 385	Arg	Asp	Ile	Gln	Asp 390	Phe	Trp	He	Ser	Leu 395	Pro	Gly	Thr	Leu	Cys 400
Ser	Glu	Lys	Met	Ala 405	Met	Ser	Pro	Ala	Ser 410	Åsp	Asp	Arg	Cys	Trp 415	Asn
Gly	Ne	Ser	Lys 420	Gly	Arg	Tyr	Leu	Pro 425	Glu	Val	Met	Gly	Asp 430	Gly	Leu
Ala	Asn	Gln 435	Ile	Asn	Asn	Pro	Glu 440	Val	Glu	Val	Asp	Ile 445	Thr	Lys	Pro
Asp	Met 450	Thr	Ile	Arg	Gln	G1n 455	Ile	Met	Gln	Leu	Lys 460	Ile	Met	Thr	Asn
Arg 465	Leu	Arg	Gly	Ala	Tyr 470	Gly	Gly	Asn	Asp	Va1 475	Asp	Phe	Gln	Asp	Ala 480
Ser	Asp	Asp	Gly	Ser 485	Gly	Ser	Gly	Ser	G1y 490	Gly	Gly	Cys	Pro	Asp 495	Àsp
Thr	Cys	Gly	Arg 500	Arg	Val	Ser	Lys	Lys 505	Ser	Ser	Ser	Ser	Arg 510	Thr	Pro
Leu	Thr	His 515	Ala	Leu	Pro	Gly	Leu 520	Ser	Glu	Gln	Glu	Gly 525	GIn	Lys	Thr
Ser	Ala 530		Thr	Cys	Pro	G1u 535	Pro	His	Ser	Phe	Phe 540	Leu	Leu	Phe	Leu

<210> <211> <212> <213>	10 1677 DNA Homo	sap	iens								
<220> <221> <222>	CDS (1).	. (16	74)								
<400> atg ga Met Gl											48
ctg gt Leu Va											96
ggc ga Gly Gl					 -	-		 -	-		144
gtg cc Val Pr 50											192
ggc ta Gly Ty 65											240
agc ca Ser Hi											288
cag gc Gln Al										-	336
cac ct His Le		Asn									384
gcc tt Ala Ph							 -			-	432

Val Thr Leu Val Leu Ala Ala Ala Arg Pro Arg Trp Arg

555

550

	130					135					140						
			-	-	ctg Leu 150										_	48	30
	-	-			ttc Phe											52	28
					ctg Leu											5	76
					gcg Ala											6:	24
					acc Thr											6	72
					gcc Ala 230											7	20
					tgc Cys										Cys	7	68
				Gly										Туг	tgc Cys	8	16
cga Arg	aat Asn	gtg Val 275	Leu	aag Lys	ggc Gly	tgc Cys	ctt Leu 280	Ala	aac Asn	cag Gln	gcc Ala	gac Asp 285	Leu	gac Asp	gcc Ala	8	64
		Arg					Ser					Thr			ttc Phe	g	112
															tgg Trp	S	960

ctg gcg gag gcc atc aac gcc ctc cag gac aac agg gac acg ctc acg Leu Ala Glu Ala Ile Asn Ala Leu Gln Asp Asn Arg Asp Thr Leu Thr

-	-	_		cag Gln		 					1056
				gag Glu							1104
				ggc Gly							1152
				gtc Val							1200
_	_		-	atg Met 405							1248
			-	aga Arg							1296
_				atc Ile							1344
				atc Ile							1392
			-	agc Ser	_			-			1440
				ggc Gly 485							1488
				cgg Arg						Arg	1536
	-			gcc Ala							1584

515 520 525

acc tcg gct gcc agc tgc ccc cag ccc ccg acc ttc ctc ctg ccc ctc

Thr Ser Ala Ala Ser Cys Pro Gln Pro Pro Thr Phe Leu Leu Pro Leu

530

540

ctc ctc ttc ctg gcc ctt aca gta gcc agg ccc cgg tgg cgg taa 1677 Leu Leu Phe Leu Ala Leu Thr Val Ala Arg Pro Arg Trp Arg 545 550 555

<210> 11

<211> 558

<212> PRT

<213> Homo sapiens

<400> 11

Met Glu Leu Arg Ala Arg Gly Trp Trp Leu Leu Cys Ala Ala Ala 1 5 10 15

Leu Val Ala Cys Ala Arg Gly Asp Pro Ala Ser Lys Ser Arg Ser Cys 20 25 30

Gly Glu Val Arg Gln Ile Tyr Gly Ala Lys Gly Phe Ser Leu Ser Asp 35 40 45

Val Pro Gln Ala Glu Ile Ser Gly Glu Hís Leu Arg Ile Cys Pro Gln 50 55 60

Gly Tyr Thr Cys Cys Thr Ser Glu Met Glu Glu Asn Leu Ala Asn Arg 55 70 75 80

Ser His Ala Glu Leu Glu Thr Ala Leu Arg Asp Ser Ser Arg Val Leu 85 90 95

Gln Ala Met Leu Ala Thr Gln Leu Arg Ser Phe Asp Asp His Phe Gln 100 105 110

His Leu Leu Asn Asp Ser Glu Arg Thr Leu Gln Ala Thr Phe Pro Gly
115 120 125

Ala	Phe 130	Gly	Glu	Leu	Tyr	135	Gin	Asn	Ala	Arg	140	Phe	Arg	Asp	Leu
Tyr 145	Ser	Glu	Leu	Arg	Leu 150	Tyr	Tyr	Arg	Gly	Ala 155	Asn	Leu	His	Leu	G1u 160
Glu	Thr	Leu	Ala	Glu 165	Phe	Trp	Ala	Arg	Leu 170	Leu	Glu	Arg	Leu	Phe 175	Lys
GIn	Leu	His	Pro 180	Gln	Leu	Leu	Leu	Pro 185	Asp	Asp	Туг	Leu	Asp 190	Cys	Leu
Gly	Lys	G1n 195	Ala	Glu	Ala	Leu	Arg 200	Pro	Phe	Gly	Glu	Ala 205	Pro	Arg	GTu
Leu	Arg 210	Leu	Arg	Ala	Thr	Arg 215	Ala	Phe	Val	Ala	Ala 220	Arg	Ser	Phe	Val
G1n 225	Gly	Leu	Gly	Val	Ala 230	Ser	Asp	Val	Val	Arg 235	Lys	Val	Ala	Gln	Val 240
Pro	Leu	Gly	Pro	G1u 245	Cys	Ser	Arg	Ala	Va1 250	Met	Lys	Leu	Val	Tyr 255	Cys
Ala	His	Cys	Leu 260	Gly	Val	Pro	Gly	Ala 265	Arg	Pro	Cys	Pro	Asp 270	Tyr	Cys
Arg	Asn	Va1 275	Leu	Lys	Gly	Cys	Leu 280	Ala	Asn	Gln	Ala	Asp 285	Leu	Asp	Ala
Glu	Trp 290		Asn	Leu	Leu	Asp 295	Ser	Met	Val	Leu	Ile 300	Thr	Asp	Lys	Phe
Trp 305	Gly	Thr	Ser	Gly	Val 310	Glu	Ser	Val	He	G1y 315	Ser	Val	His	Thr	Trp 320

Leu	Ala	Glu	Ala	11e 325	Asn	Ala	Leu	Gln	Asp 330	Asn	Arg	Asp	Thr	Leu 335	Thr
Ala	Lys	Val	Ile 340	Gln	Gly	Cys	Gly	Asn 345	Pro	Lys	Val	Asn	Pro 350	Gln	Gly
Pro	Gly	Pro 355	Glu	Glu	Lys	Arg	Arg 360	Arg	Gly	Lys	Leu	Ala 365	Pro	Arg	Glu
Arg	Pro 370	Pro	Ser	Gly	Thr	Leu 375	Glu	Lys	Leu	Val	Ser 380	Glu	Ala	Lys	Ala
G1n 385	Leu	Arg	Asp	Val	G1n 390	Asp	Phe	Trp	Ile	Ser 395	Leu	Pro	Gly	Thr	Leu 400
Cys	Ser	Glu	Lys	Met. 405	Ala	Leu	Ser	Thr	Ala 410	Ser	Asp	Asp	Arg	Cys 415	Trp
Asn	Gly	Met	Ala 420	Arg	Gly	Arg	Tyr	Leu 425	Pro	Glu	Val	Met	Gly 430	Asp	Gly
Leu	Ala	Asn 435	Gln	Ile	Asn	Asn	Pro 440	Glu	Val	Glu	Val	Asp 445	Ile	Thr	Lys
Pro	Asp 450	Met	Thr	Ile	Arg	Gln 455	Gln	Ile	Met	Gln	Leu 460	Lys	He	Met	Thr
Asn 465	Arg	Leu	Arg	Ser	Ala 470	Tyr	Asn	Gly	Asn	Asp 475	Val	Asp	Phe	GIn	Asp 480
Ala	Ser	Asp	Asp	Gly 485	Ser	Gly	Ser	Gly	Ser 490	Gly	Asp	Gly	Cys	Leu 495	Asp
Asp	Leu	Cys	Gly 500	Arg	Lys	Val	Ser	Arg 505	Lys	Ser	Ser	Ser	Ser 510	Arg	Thr

515 520 525 Thr Ser Ala Ala Ser Cys Pro Gln Pro Pro Thr Phe Leu Leu Pro Leu 530 535 540 Leu Leu Phe Leu Ala Leu Thr Val Ala Arg Pro Arg Trp Arg 545 550 555 <210> 12 <211> 369 <212> DNA <213> Mus musculus <220> <221> CDS <222> (1)..(366)<400> 12 atg aag oct ttt cat act goo otc too tto otc att ott aca act got 48 Met Lys Pro Phe His Thr Ala Leu Ser Phe Leu Ile Leu Thr Thr Ala 15 ett gga atc tgg gcc cag atc aca cat gca aca gag aca aaa gaa gtc 96 Leu Gly Ile Trp Ala Gln Ile Thr His Ala Thr Glu Thr Lys Glu Val 20 25 cag ago agt ctg aag goa cag caa ggg ctt gaa att gaa atg ttt cac 144 Gln Ser Ser Leu Lys Ala Gln Gln Gly Leu Glu Ile Glu Met Phe His 35 45 atg ggc ttt caa gac tct tca gat tgc tgc ctg tcc tat aac tca cgg 192 Met Gly Phe Gln Asp Ser Ser Asp Cys Cys Leu Ser Tyr Asn Ser Arg att cag tgt tca aga ttt ata ggt tat ttt ccc acc agt ggt ggg tgt 240 Ile Gln Cys Ser Arg Phe Ile Gly Tyr Phe Pro Thr Ser Gly Gly Cys 65 70 75 80 acc agg ccg ggc atc atc ttt atc agc aag agg ggg ttc cag gtc tgt 288 Thr Arg Pro Gly Ile Ile Phe Ile Ser Lys Arg Gly Phe Gln Val Cys 90 gcc aac ccc agt gat cgg aga gtt cag aga tgc att gaa aga ttg gag 336

Pro Leu Thr His Ala Leu Pro Gly Leu Ser Glu Gln Glu Gly Gln Lys

Ala Asn Pro Ser Asp Arg Arg Val Gln Arg Cys Ile Glu Arg Leu Glu 100 105 caa aac tca caa cca cgg acc tac aaa caa taa Gln Asn Ser Gln Pro Arg Thr Tyr Lys Gln 115 120 <210> 13 <211> 122 <212> PRT <213> Mus musculus <400> 13 Met Lys Pro Phe His Thr Ala Leu Ser Phe Leu Ile Leu Thr Thr Ala 5 Leu Gly Ile Trp Ala Gln Ile Thr His Ala Thr Glu Thr Lys Glu Val 25 20 Gln Ser Ser Leu Lys Ala Gln Gln Gly Leu Glu Ile Glu Met Phe His 45 35 40 Met Gly Phe Gln Asp Ser Ser Asp Cys Cys Leu Ser Tyr Asn Ser Arg 55 Ile Gln Cys Ser Arg Phe Ile Gly Tyr Phe Pro Thr Ser Gly Gly Cys 65 70 75 Thr Arg Pro Gly Ile Ile Phe Ile Ser Lys Arg Gly Phe Gln Val Cys 90 Ala Asn Pro Ser Asp Arg Arg Val Gln Arg Cys Ile Glu Arg Leu Glu

105

369

115 120 <210> 14

<211> 1223

Gln Asn Ser Gln Pro Arg Thr Tyr Lys Gln

100

<212 <213		NA us m	iuscu	ılus												
<220 <221 <222	> C	DS 84).	.(11	21)												
<400 gtga		4 gaaa	19998	igecc	c gt	ggta	ıgagg	ı tga	iccg9	agc	tgag	catt	tc a	igato	tgctt	60
agta	aacc	gg t	gtat	cgcc	c ac										c cgg u Arg 10	113
											atc He					161
											tgg Trp					209
											act Thr					257
											cca Pro 70					305
											gtt Val					353
											ttg Leu					401
											cct Pro					449
											gga Gly					497
											cct Pro					545

140			145			150				
								gca Ala		593
								cag Gln 185		641
								atg Met		689
								ctg Leu	_	737
								gtg Val		785
								ctg Leu		833
							_	ttt Phe 265		881
								atg Met		929
								cag Gln		977
								aag Lys		1025
								aat Asn		1073
								aag Lys		1121

335 340 345

tgaagtaacc gettgtgatg teteegetea etgatgtett gettgtttaa taggageaga 1181 tagteattae agtttgeate ageagaatte eegegeggee ge 1223

<210> 15

<211> 346

<212> PRT

<213> Mus musculus

<400> 15

Met Leu Ala Ala Arg Leu Val Cys Leu Arg Thr Leu Pro Ser Arg Val 1 5 10 15

Phe Gln Pro Thr Phe Ile Thr Lys Ala Ser Pro Leu Val Lys Asn Ser 20 25 30

Ile Thr Lys Asn Gln Trp Leu Val Thr Pro Ser Arg Glu Tyr Ala Thr 35 40 45

Lys Thr Arg Ile Arg Thr His Arg Gly Lys Thr Gly Gln Glu Leu Lys 50 55 60

Glu Ala Ala Leu Glu Pro Ser Met Glu Lys Ile Phe Lys Ile Asp Gln 65 70 75 80

Met Gly Arg Trp Phe Val Ala Gly Gly Ala Ala Val Gly Leu Gly Ala 85 90 95

Leu Cys Tyr Tyr Gly Leu Gly Met Ser Asn Glu Ile Gly Ala Ile Glu 100 105 110

Lys Ala Val Ile Trp Pro Gln Tyr Val Lys Asp Arg Ile His Ser Thr 115 120 125

Tyr Met Tyr Leu Ala Gly Arg Tyr Cys Leu Thr Ala Leu Ser Ala Leu 130 135 140

145	i vai	Ala	arg	inr	150	Ala	Leu	Met	ASN	155	ret	ret	ını	ыу	160	
Trp	Val	Thr	Ile	Gly 165	Ala	Thr	Phe	Ala	Ala 170	Met	He	Gly	Ala	Gly 175	Met	
Leu	ı Val	His	Ser 180	Ile	Ser	Tyr	Glu	G1n 185	Ser	Pro	Gly	Pro	Lys 190	His	Leu	
Ala	a Trp	Met 195	Leu	His	Ser	Gly	Val 200	Met	Gly	Ala	Val	Val 205	Ala	Pro	Leu	
Thi	11e 210		Gly	Gly	Pro	Leu 215	Leu	Leu	Arg	Ala	Ala 220	Trp	Tyr	Thr	Ala	
GT ₂	/ Ile	Val	Gly	Gly	Leu 230	Ser	Thr	Val	Ala	Met 235	Cys	Ala	Pro	Ser	G1u 240	
	s Phe			245					250					255		
	∍ Ala		260					265		,		.*	270			
	y Ala	275					280					285				
	r Met 290					295					300					
30					310					315					320	
Le	u Thr	He	ıyr	Met 325		ınr	Leu	ASN	330		met	Arg	val	335		

Met Leu Ala Thr Gly Ser Asn Arg Lys Lys 340 345

<210; <211; <212; <213;	> 1 > D	6 038 NA omo	sapi	ens												
<220; <221; <222;	> C	DS 1)	(103	15)												
<400; atg Met 1	ttg	gct														48
ttc Phe			-			_	-			-		_				96
acg Thr	-															144
aca Thr																192
gca Ala 65	-	_														240
gga Gly	-				-			-	-					_		288
tgc Cys					gga Gly											336
					cag Gln											384
atg	tac	tta	gca	999	agt	att	ggt	tta	aca	gct	ttg	tct	gcc	ata	gca	432

Met	Tyr 130	Leu	Ala	Gly	Ser	I le 135	Gly	Leu	Thr	Ala	Leu 140	Ser	Ala	Ile	Ala	
					gtt Val 150											480
					acc Thr											528
					tat Tyr											576
					ggt Gly											624
					ctt Leu							Tyr				672
	Val				tcc Ser 230						Ala					720
	-				gca Ala					Gly						768
~ 0			•	Gly					Pro					Ala	ggt Gly	816
			Tyr		gtg Val			Tyr					Leu		agc Ser	864
		Leu			gat Asp		Gln					Arg			gta Val	912
	Pro				-	Gln					l l l				ctg Leu 320	960
agt	. ato	tac	atg	gat	: aca	. tta	aat	ata	ı ttt	ate	g cga	gtt	. gca	act	atg	1008

Ser Ile Tyr Met Asp Thr Leu Asn Ile Phe Met Arg Val Ala Thr Met 325 330 335

ctg gca act gga ggc aac aga aag aaa tga Leu Ala Thr Gly Gly Asn Arg Lys Lys 340 345 1038

<210> 17

<211> 345

<212> PRT

<213> Homo sapiens

<400> 17

Met Leu Ala Ala Arg Leu Val Cys Leu Arg Thr Leu Pro Ser Arg Val
1 5 10 15

Phe His Pro Ala Phe Thr Lys Ala Ser Pro Val Val Lys Asn Ser Ile 20 25 30

Thr Lys Asn Gln Trp Leu Leu Thr Pro Ser Arg Glu Tyr Ala Thr Lys 35 40 45

Thr Arg Ile Gly Ile Arg Arg Gly Arg Thr Gly Gln Glu Leu Lys Glu 50 55 60

Ala Ala Leu Glu Pro Ser Met Glu Lys Ile Phe Lys Ile Asp Gln Met 65 70 75 80

Gly Arg Trp Phe Val Ala Gly Gly Ala Ala Val Gly Leu Gly Ala Leu 85 90 95

Cys Tyr Tyr Gly Leu Gly Leu Ser Asn Glu Ile Gly Ala Ile Glu Lys 100 105 110

Ala Val Ile Trp Pro Gln Tyr Val Lys Asp Arg Ile His Ser Thr Tyr 115 120 125

Met Tyr Leu Ala Gly Ser Ile Gly Leu Thr Ala Leu Ser Ala Ile Ala 130 135 140

11e 145	Ser	Arg	Thr	Pro	Val 150	Leu	Met	Asn	Phe	Met 155	Met	Arg	Gly	Ser	Trp 160
Val	Thr	Ne	Gly	Val 165	Thr	Phe	Ala	Ala	Met 170	Val	Gly	Ala	Gly	Met 175	Leu
Val	Arg	Ser	Ile 180	Pro	Tyr	Asp	Gln	Ser 185	Pro	Gly	Pro	Lys	His 190	Leu	Ala
Trp	Leu	Leu 195	His	Ser	Gly	Val	Met 200	Gly	Ala	Val	Val	Ala 205	Pro	Leu	Thr
Ile	Leu 210	Gly	Gly	Pro	Leu	Leu 215	Ile	Arg	Ala	Ala	Trp 220	Tyr	Thr	Ala	Gly
11e 225	Val	Gly	Gly	Leu	Ser 230	Thr	Val	Ala	Met	Cys 235	Ala	Pro	Ser	Glu	Lys 240
Phe	Leu	Asn	Met	G1y 245	Ala	Pro	Leu	Gly	Va1 250	Gly	Leu	Gly	Leu	Val 255	Phe
Val	Ser	Ser	Leu 260	Gly	Ser	Met	Phe	Leu 265	Pro	Pro	Thr	Thr	Val 270	Ala	Gly
Ala	Thr	Leu 275	Туг	Ser	Val	Ala	Met 280	Tyr	Gly	Gly	Leu	Val 285	Leu	Phe	Ser
Met	Phe 290	Leu	Leu	Tyr	Asp	Thr 295	Gln	Lys	Val	Ile	Lys 300	Arg	Ala	Glu	Val
Ser 305	Pro	Met	Tyr	Gly	Val 310	Gln	Lys	Tyr	Asp	Pro 315	Ile	Asn	Ser	Met	Leu 320
Ser	He	Tyr	Met	Asp 325	Thr	Leu	Asn	Ile	Phe 330	Met	Arg	Val	Ala	Thr 335	Met

Leu Ala Thr Gly Gly Asn Arg Lys Lys 340 345

<210> 1												
	47											
	NA											
<213> M	us muscu	ılus										
<220>												
	DS											
<222> (1)(444	1)										
	8											
atg agc												48
Met Ser	inr Ser		arg Pr	o ala		reu	Ala	Leu	Ala		Leu	
1		5			10					15		
gct ctg	ctc ctt	ctg ctg	tgc ct	g ggt	cca	gat	ggc	ata	agt	gga	aac	96
Ala Leu	Leu Leu	Leu Leu	Cys Le	u Gly	Pro	Asp	Gly	He	Ser	Gly	Asn	
	20			25					30			
aaa ctc	aag aag	atg ctc	caq aa	a cqa	gaa	qqa	cct	atc	cca	tca	aag	144
Lys Leu												
	35		40					45			•	
									,			
act aat							-					192
Thr Asn 50	vai Ala	vai Ala	55	n inr	АТА	Lys	60	rne	Leu	ыу	ыу	
00			O.C				0.0					
ctg aag												240
Leu Lys	Arg Ala	-	Gln Le	u Trp	Asp		Thr	Arg	Pro	Glu		
65		70				75					80	
cag cag	tgg tac	cag cag	ttc ct	c tac	atg	ggc	ttt	gat	gag	gct	aaa	288
Gln Gln									-	-		
		85			90			•		95	-	
+++	~~* ~~+	~4 n n n	* - * -									220
ttt gaa								_				336
Phe Glu	100	vai Maii	iyi ii	105	ASII	AI 9	MSII	Mig	110	Cary	піъ	
	,,,,,			100					. , 0			
gac tac	tat ggt	gac tac	tac ca	g cgt	cat	tat	gat	gaa	gat	gcg	gcc	384
Asp Tyr	Tyr Gly	Asp Tyr	Tyr G1	n Arg	His	Tyr	Asp	Glu	Asp	Ala	Ala	
	115		12	0				125				

att ggt ccc cac agc cgg gaa agc ttc agg cat gga gcc agt gtg aac 432 lle Gly Pro His Ser Arg Glu Ser Phe Arg His Gly Ala Ser Val Asn 130 135 140 tat gat gac tat taa 447 Tyr Asp Asp Tyr 145 <210> 19 <211> 148 <212> PRT <213> Mus musculus <400> 19 Met Ser Thr Ser Ser Ala Arg Pro Ala Val Leu Ala Leu Ala Gly Leu 5 10 Ala Leu Leu Leu Leu Cys Leu Gly Pro Asp Gly 11e Ser Gly Asn 20 25 Lys Leu Lys Lys Met Leu Gln Lys Arg Glu Gly Pro Val Pro Ser Lys 40 Thr Asn Val Ala Val Ala Glu Asn Thr Ala Lys Glu Phe Leu Gly Gly 50 55 60 Leu Lys Arg Ala Lys Arg Gln Leu Trp Asp Arg Thr Arg Pro Glu Val Gln Gln Trp Tyr Gln Gln Phe Leu Tyr Met Gly Phe Asp Glu Ala Lys 85 90 95 Phe Glu Asp Asp Val Asn Tyr Trp Leu Asn Arg Asn Arg Asn Gly His 100 105 110 Asp Tyr Tyr Gly Asp Tyr Tyr Gln Arg His Tyr Asp Glu Asp Ala Ala 115 120 125

Ile Gly Pro His Ser Arg Glu Ser Phe Arg His Gly Ala Ser Val Asn

135 140

130

Tyr Asp Asp Tyr

145 <210> 20 <211> 447 <212> DNA <213> Homo sapiens <220> <221> CDS <222> (1)..(444)<400> atg gct gcc tcc ccc gcg cgg cct gct gtc ctg gcc ctg acc ggg ctg 48 Met Ala Ala Ser Pro Ala Arg Pro Ala Val Leu Ala Leu Thr Gly Leu 10 geg etg etc etg etc etg tge tgg gge eca ggt gge ata agt gga aat 96 Ala Leu Leu Leu Leu Cys Trp Gly Pro Gly Gly Ile Ser Gly Asn 20 25 aaa ctc aag ctg atg ctt caa aaa cga gaa gca cct gtt cca act aag 144 Lys Leu Lys Leu Met Leu Gln Lys Arg Glu Ala Pro Val Pro Thr Lys 35 act aaa gtg gcc gtt gat gag aat aaa gcc aaa gaa ttc ctt ggc agc 192 Thr Lys Val Ala Val Asp Glu Asn Lys Ala Lys Glu Phe Leu Gly Ser 50 55 ctg aag cgc cag aag cgg cag ctg tgg gac cgg act cgg ccc gag gtg 240 Leu Lys Arg Gln Lys Arg Gln Leu Trp Asp Arg Thr Arg Pro Glu Val 65 70 75 80 cag cag tgg tac cag cag ttt ctc tac atg ggc ttt gac gaa gcg aaa 288 Gln Gln Trp Tyr Gln Gln Phe Leu Tyr Met Gly Phe Asp Glu Ala Lys ttt gaa gat gac atc acc tat tgg ctt aac aga gat cga aat gga cat 336 Phe Glu Asp Asp Ile Thr Tyr Trp Leu Asn Arg Asp Arg Asn Gly His 100 105 110 gaa tac tat ggc gat tac tac caa cgt cac tat gat gaa gac tct gca 384 Glu Tyr Tyr Gly Asp Tyr Tyr Gln Arg His Tyr Asp Glu Asp Ser Ala 115 120 125

Ile Gly Pro Arg Ser Pro Tyr Gly Phe Arg His Gly Ala Ser Val Asn 130 135 140 tac gat gac tac taa 447 Tyr Asp Asp Tyr 145 <210> 21 <211> 148 <212> PRT <213> Homo sapiens <400> 21 Met Ala Ala Ser Pro Ala Arg Pro Ala Val Leu Ala Leu Thr Gly Leu Ala Leu Leu Leu Leu Cys Trp Gly Pro Gly Gly Ile Ser Gly Asn 25 20 Lys Leu Lys Leu Met Leu Gln Lys Arg Glu Ala Pro Val Pro Thr Lys 35 40 Thr Lys Val Ala Val Asp Glu Asn Lys Ala Lys Glu Phe Leu Gly Ser 50 55 Leu Lys Arg Gln Lys Arg Gln Leu Trp Asp Arg Thr Arg Pro Glu Val 65 70 75 80 Gln Gln Trp Tyr Gln Gln Phe Leu Tyr Met Gly Phe Asp Glu Ala Lys 85 Phe Glu Asp Asp Ile Thr Tyr Trp Leu Asn Arg Asp Arg Asn Gly His 100 105 110 Glu Tyr Tyr Gly Asp Tyr Tyr Gln Arg His Tyr Asp Glu Asp Ser Ala 115 120

att ggt ccc cgg agc ccc tac ggc ttt agg cat gga gcc agc gtc aac

Ile Gly Pro Arg Ser Pro Tyr Gly Phe Arg His Gly Ala Ser Val Asn 130 135 140

Tyr Asp Asp Tyr

145

<210> 22 <211> 3144 <212> DNA <213> Mus musculus <220> <221> CDS <222> (642)..(1370)<400> 22 ggccttatgg ccgggggtct gcatctccat cggaaagtgc gctggccaca tcccttcggc 60 ctccgggcag tgttctgtct cccttagctc aggcagcgag aaacttcagc tgtgaagtgg 120 180 tggtggagag agccctggga gcagcgactg gacccggaca ccaagaagag agtggacgcg cccctcgact aggaatcgct ctcgcaggcg gagacccagc atctcagcgc ctgcggtcgc 240 300 gcttgcccgg ccgcgcgctt ttgctaggcg ccgccagccc cgaaggaccc tcggggtccg cggaccette tgcagccggc ggaatectaa agetgccaag ageteccggc gggtgtegge 360 420 aaacttttte egageeeacg tgetgaceaa acageeegge tegetteeag ageetggeat 480 ggagcgccgc gcctaggcac gccgtgcagc ccgagagacg cgagcgcacg gttcaccgtg 540 gagggagaga tgctcatcga gccaaattga tcattgcagc cccagggcag tgacatctgt 600 ctctgagtcc tccctaggag cgcgacccgc actgtctcct tccaggagcc cgtcatttcc togacttttg agaggtgtct ctccccagcc cgaccgtcca g atg cgt ttt tgc ctc 656 Met Arg Phe Cys Leu

ttc tca ttt gcc ctc atc att ctg aac tgt atg gat tac agc cag tgc Phe Ser Phe Ala Leu Ile Ile Leu Asn Cys Met Asp Tyr Ser Gln Cys

caa ggc aac cga tgg aga cgc aat aag cga gct agt tat gta tca aat Gln Gly Asn Arg Trp Arg Arg Asn Lys Arg Ala Ser Tyr Val Ser Asn

10

15

704

25	30	35

						tgt Cys								800
						ttc Phe								848
						tgc Cys								896
						gca Ala								944
						tgt Cys 110								992
		Arg				gat Asp								1040
	Asp					gta Val				Glu				1088
Ser					Cys	aga Arg			Arg					1136
				Thr				He					gca Ala	1184
			Pro			att 11e 190	Ala					Cys		1232
 -		Arg				Gly					Lys		aaa Lys	1280
													caa Gln	1328

A4 =	COLON AND	
215	220	225
J., (V)	2 to V	2.2.3

gag cag cac agc gtc ttc ctc gct aca gac aga gtg aac caa Glu Gln His Ser Val Phe Leu Ala Thr Asp Arg Val Asn Gln 230 235 240	1370
taaaatacaa gaaatagctg gggcattttg aggttttctg ttttgtttat gttgttgttt	1430
tgcaaaagtg cacaaagcta ctctccagtc cacactggtg gacagcattc ctgatcctct	1490
gaccagtatc cattttcagt aatgctgcag agggaggtgc ccaagcatgg actcagcgtt	1550
atttatgctt tgattggaat ctggggcctg tgatggcagg agcttgttga gctgagtcag	1610
cgggagctga tgcatctgta ctcttgtgat gagcacagtg tgtcataaga acctgtccct	1670
ggcacggtgg acccacagga ggcacaaggc tgtagatcac caccagagaa tgcacctgtg	1730
cctattttga tggatggcaa tgctaagcaa gcaagcactg ttcacttgtg actttcattt	1790
ctcacactgt gcactgtcaa agacaaatgt gcatggaaaa atgtttagtg tcacctcatg	1850
gcgttctcag catcagtgac cttcaaacgg tcctacaatg agactgtgtt ctagctaggg	1910
gtatgctgtg gaaattcctg ctacatttca tcttagtgct aacatgtaca gattctgctg	1970
cgctacattc aaagctcatt actgtatatt tatgctttct ctgtgtaaca agttatacct	2030
gataagatgt cactttgttt ctagtgattc ttaaccatgg tctggtacat ggctattcta	2090
gttttggaaa ttaacaagtg ttttgttgcc tcttgttttc ttttgttcct atcattttg	2150
gcgggggttg ggtgggcttg attctaaccg taagtatagg ataagctagt tttgtatata	2210
gagtcaaatg actgatgtca gaggatcagt gctgatagaa cttccccagt tcatgtcacg	2270
atacacacag agagaaagca gcatgaggca tcttgccatc agaagccaaa tttcttttga	2330
gtcccaaaat tgatgactta tgaaatatag ctgaaaacaa gatttgggtg tagttacttg	2390
tatttattat acaatttcca attacatttt ttttcaaact caaaataacc catgactttg	2450
agtgataggt cacttggcaa tgttcttgaa ttactgggga agctgttgtc actaagataa	2510
tgagagagaa aatagaatgg cttcgcccaa gtgagagcca catcttacat ttctctgttg	2570
aatcggaatc aactatatta gaacagaagc ctgatagaag ctttctagtt aacacacaca	2630

aggccatggt ttcaaaaaca tctttgtccc cttaggtcag tttgtcctta gattatgaat 2690 2750 tggcaggttc taattgcatt atttccctgg ctgatccagg aaaaagttag aacaaaataa gttgcatagt tttgaggaaa catccaaagc aaggcgaagc ctttccttgc cttgcattgg 2810 caaaactacc tctttagcat ttatgttgat tcagaaacat cttgctgata tgtgtagatg 2870 ttttaagctt cattgtgaaa atattgatgc aagataagcc atatatgaat gttgtattca 2930 actttagggc ttgaaattaa tcctaaagtg ttcacctctc tccatgtcta tttacactct 2990 gttcctattt actaagaggg taggggtctc cttaatatca tacttcattg ttaataagtc 3050 aatgettgtt atgtttettg getgttgttt ttgtgeatta aaaacteaaa attggaaaaa 3110 3144 аааааааааа аааааааааа аааааааааа аааа

<210> 23

<211> 243

<212> PRT

<213> Mus musculus

<400> 23

Met Arg Phe Cys Leu Phe Ser Phe Ala Leu Ile Ile Leu Asn Cys Met
1 5 10 15

Asp Tyr Ser Gln Cys Gln Gly Asn Arg Trp Arg Arg Asn Lys Arg Ala 20 25 30

Ser Tyr Val Ser Asn Pro Ile Cys Lys Gly Cys Leu Ser Cys Ser Lys 35 40 45

Asp Asn Gly Cys Ser Arg Cys Gln Gln Lys Leu Phe Phe Phe Leu Arg 50 55 60

Arg Glu Gly Met Arg Gln Tyr Gly Glu Cys Leu His Ser Cys Pro Ser 65 70 75 80

Gly Tyr Tyr Gly His Arg Ala Pro Asp Met Asn Arg Cys Ala Arg Cys 85 90 95 Arg Ile Glu Asn Cys Asp Ser Cys Phe Ser Lys Asp Phe Cys Thr Lys 100 105 110 Cys Lys Val Gly Phe Tyr Leu His Arg Gly Arg Cys Phe Asp Glu Cys 120 125 Pro Asp Gly Phe Ala Pro Leu Asp Glu Thr Met Glu Cys Val Glu Gly 130 135 140 Cys Glu Val Gly His Trp Ser Glu Trp Gly Thr Cys Ser Arg Asn Asn 150 Arg Thr Cys Gly Phe Lys Trp Gly Leu Glu Thr Arg Thr Arg Gln Ile 165 170 175 Val Lys Lys Pro Ala Lys Asp Thr Ile Pro Cys Pro Thr Ile Ala Glu 180 Ser Arg Arg Cys Lys Met Ala Met Arg His Cys Pro Gly Gly Lys Arg 195 200 205 Thr Pro Lys Ala Lys Glu Lys Arg Asn Lys Lys Lys Arg Arg Lys Leu 210 215 220 Ile Glu Arg Ala Gln Glu Gln His Ser Val Phe Leu Ala Thr Asp Arg 225 230 235 240 Val Asn Gln

<210> 24 <211> 843 <212> DNA <213> Mus musculus <220>

<221> CDS

<222> (132)..(506)

4400\ 24	
<400> 24 ggccattatg gccggggct ttcgccgtcc gggagctgac cggccgtgtt cctctctcgt	60
cttcctctgc gccccgcgtc cccgccctcg cgaccccggc tctcctggac tcggcgccgc	120
caacctgggc g atg ccc cgc tac gag ttg gct ttg att ctg aaa gcc atg Met Pro Arg Tyr Glu Leu Ala Leu Ile Leu Lys Ala Met 1 5 10	170
cgg cgg cca gag acc gct gct ttg aaa cgt aca ata gaa tcc ctg Arg Arg Pro Glu Thr Ala Ala Ala Leu Lys Arg Thr Ile Glu Ser Leu 15 20 25	218
atg gac cga gga gcc ata gtg agg aac ttg gaa agc ctg ggt gag cgt Met Asp Arg Gly Ala Ile Val Arg Asn Leu Glu Ser Leu Gly Glu Arg 30 35 40 45	266
gcg ctc ccc tac agg atc tcg agt cac agc cag cag cac agc cga gga Ala Leu Pro Tyr Arg Ile Ser Ser His Ser Gln Gln His Ser Arg Gly 50 55 60	314
ggg tat ttc ctg gtg gat ttt tat gct ccg aca agt gct gtg gag aac Gly Tyr Phe Leu Val Asp Phe Tyr Ala Pro Thr Ser Ala Val Glu Asn 65 70 75	362
ata ctg gaa cac ttg gcg cga gac att gac gtg gtt aga cca aat att Ile Leu Glu His Leu Ala Arg Asp Ile Asp Val Val Arg Pro Asn Ile 80 85 90	410
gtg aaa cac cct ctg acc cag gaa gta aaa gag tgt gac ggc ata gtc Val Lys His Pro Leu Thr Gln Glu Val Lys Glu Cys Asp Gly Ile Val 95 100 105	458
cca gtc cca ctt gaa gaa aaa ctg tat tca aca aag agg agg aag aag Pro Val Pro Leu Glu Glu Lys Leu Tyr Ser Thr Lys Arg Arg Lys Lys 110 115 120 125	506
tgagaagatt caccagattc tggccttata tttaatccta agggcactat gggtgctgct	566
aggttgttgt ctaggatact ttagcccatg accattttgc tgcaggaggt agaaactgct	626
ggccgagacc tgccctgatg tetetgetga gattteatec caettgtggg gtttgtcggg	686
agtgggggtg ttcacagtac cactgtagcg tttccaagag caaaatgttt gtcattcaca	746
cttggttgtc ttgcaagcct atatggaaca ctgggagcag agtaataaac atgactttat	806

<210> 25

<211> 125

<212> PRT

<213> Mus musculus

<400> 25

Met Pro Arg Tyr Glu Leu Ala Leu Ile Leu Lys Ala Met Arg Arg Pro 1 5 10 15

Glu Thr Ala Ala Ala Leu Lys Arg Thr Ile Glu Ser Leu Met Asp Arg 20 25 30

Gly Ala Ile Val Arg Asn Leu Glu Ser Leu Gly Glu Arg Ala Leu Pro 35 40 45

Tyr Arg Ile Ser Ser His Ser Gln Gln His Ser Arg Gly Gly Tyr Phe 50 55 60

Leu Val Asp Phe Tyr Ala Pro Thr Ser Ala Val Glu Asn Ile Leu Glu 65 70 75 80

His Leu Ala Arg Asp Ile Asp Val Val Arg Pro Asn Ile Val Lys His 85 90 95

Pro Leu Thr Glu Val Lys Glu Cys Asp Gly Ile Val Pro Val Pro 100 105 110

Leu Glu Glu Lys Leu Tyr Ser Thr Lys Arg Arg Lys Lys 115 120 125

<210> 26

<211> 2490

<212> DNA

<213> Mus musculus

<220>

<221> CDS (1)..(2487)<222> <400> 26 atg aag eeg eec gge age ate tee egg egg eeg ace etg acg ggt tge 48 Met Lys Pro Pro Gly Ser Ile Ser Arg Arg Pro Thr Leu Thr Gly Cys 10 age ett eec gge gee tee tge gge eec gge ege tge eec gee gge eeg 96 Ser Leu Pro Gly Ala Ser Cys Gly Pro Gly Arg Cys Pro Ala Gly Pro 20 25 144 Val Pro Ala Arg Ala Pro Pro Cys Arg Leu Leu Leu Val Leu Leu Leu cta cet geg ete gee ace tea tee egg eee egt gee egg ggg gee get 192 Leu Pro Ala Leu Ala Thr Ser Ser Arg Pro Arg Ala Arg Gly Ala Ala 50 55 60 geg eec age get eeg cae tgg aat gaa aet gea gaa aaa aec etg gga 240 Ala Pro Ser Ala Pro His Trp Asn Glu Thr Ala Glu Lys Thr Leu Gly gto ctg gca gat gaa gac aac aca ttg caa caa aat agc agc aga 288 Val Leu Ala Asp Glu Asp Asn Thr Leu Gln Gln Asn Ser Ser Ser Arg 85 aat acc agc tac agc agt gca gtg caa aaa gaa atc aca ctg cct tca 336 Asn Thr Ser Tyr Ser Ser Ala Val Gln Lys Glu Ile Thr Leu Pro Ser 100 105 110 aga ctg gtg tat tac atc aac cag gac tca gaa agc ccc tat cat gtt 384 Arg Leu Val Tyr Tyr Ile Asn Gln Asp Ser Glu Ser Pro Tyr His Val 115 120 125 ctt gac aca aag gcc aga cac caa cag aaa cac aat aag gct gtg cat 432 Leu Asp Thr Lys Ala Arg His Gln Gln Lys His Asn Lys Ala Val His 130 ctg gcc cag gca age tte cag ate gaa get tte gge tee aag tte att 480 Leu Ala Gln Ala Ser Phe Gln Ile Glu Ala Phe Gly Ser Lys Phe Ile 145 150 155 ctt gac ctc aca ctg aac aat ggt ttg cta tct tct gac tac gtg gag 528 Leu Asp Leu Thr Leu Asn Asn Gly Leu Leu Ser Ser Asp Tyr Val Glu 165 170 175

		gaa Glu 180													576
		cac His													624
		tgc Cys													672
		ata Ile													720
		cac His													768
		aat Asn 260													816
		caa Gln					Arg					Asn			864
	Val	ttt Phe				Lys					Met				912
His	Lys		Туг	Lys	Lys	His	Arg	Ser		His				aac Asn 320	960
				Val					Asp					gaa Glu	1008
			· Arg					Ala					Thr	gag Glu	1056
		s Ile					e Asr					t Le		gac S Asp	1104

					Gln						gct Ala 380					1152
											agc Ser					1200
ttt Phe	gga Gly	ggc	gtg Val	tgt Cys 405	tct Ser	cga Arg	ata Ile	aga Arg	999 Gly 410	gtt Val	ggt Gly	gtg Val	aat Asn	gag Glu 415	tat Tyr	1248
ggt Gly	ctt Leu	cca Pro	atg Met 420	gcg Ala	gtg Val	gca Ala	caa G1n	gta Val 425	tta Leu	tca Ser	cag Gln	agc Ser	ctg Leu 430	gct Ala	caa Gln	1296
											aag Lys					1344
tgc Cys	ata Ile 450	Glu	tcc Ser	tgg Trp	ggc Gly	ggc Gly 455	Cys	atc Ile	atg Met	gaa Glu	gaa Glu 460	Thr	999 Gly	gtg Val	tcc Ser	1392
cac His 465	Ser	cga Arg	aag Lys	ttc Phe	tca Ser 470	Lys	tgc Cys	agc Ser	att Ile	ttg Leu 475	gag Glu	tac Tyr	aga Arg	gac Asp	ttt Phe 480	1440
tta Leu	cag Gln	aga Arg	ggt Gly	99c Gly 485	gga Gly	gca Ala	tgt Cys	ctt Leu	ttc Phe 490	Asr	agg Arg	cca Pro	act Thr	aag Lys 495	Leu	1488
ttt Ph∈	gag Glu	cco Pro	acg Thr	Glu	tgt Cys	gga Gly	Asn	gga Gly 505	Tyr	gtg Val	gag Glu	Ala	999 Gly 510	Glu	gaa Glu	1536
			Gly					ı Cys					Cys		aag Lys	1584
		Leu					a His					/ Pro			aac Asn	1632
	n Thi					e Gli					r Glu				gcc Ala 560	1680

												gac Asp				1728
												tgc Cys				1776
			-									gac Asp 605				1824
-												aag Lys				1872
												tgt Cys				1920
												ttc Phe				1968
				Asn								ggt Gly				2016
			He					Tyr				cga Arg 685	Val			2064
	-	Gly					Leu					Asp			tac Tyr	2112
	Glu					Cys					Met	tgc Cys				2160
w	_		-		Gln	•				Ser					gac Asp	2208
				: Val					Gly					Glu	gcc Ala	2256

								gca Ala								2304
-								cct Pro								2352
								ggc Gly								2400
-	-	-		-				aca Thr								2448
•••	•••		-		_			cag Gln 825					tga			2490
<21 <21 <21 <21	1> 2>	27 829 PRT Mus 1	MUSC	ulus												
<40 Met 1		27 Pro	Pro	Gly 5	Ser	Ile	Ser	Arg	Arg 10	Pro	Thr	Leu	Thr	Gly 15	Cys	
Met 1	Lys	Pro		5				Arg Pro 25	10					15		
Met 1 Ser	Lys Leu	Pro Pro	G1y 20	5 Ala	Ser	Cys	Gly	Pro	10 Gly	Arg	Cys	Pro	Ala 30	15 Gly	Pro	
Met 1 Ser Val	Lys Leu Pro	Pro Pro Ala 35	Gly 20 Arg	5 Ala	Ser	Cys	Gly Cys 40	Pro 25	10 Gly Leu	Arg Leu	Cys	Pro Val 45	Ala 30 Leu	Gly Leu	Pro Leu	
Met 1 Ser Val	Lys Leu Pro Pro	Pro Pro Ala 35	Gly 20 Arg	5 Ala Ala	Ser Pro	Cys Pro Ser 55	Gly Cys 40 Ser	Pro 25 Arg	Gly Leu Pro	Arg Leu Arg	Cys Leu Ala 60	Pro Val 45	Ala 30 Leu Gly	Gly Leu	Pro Leu Ala	

85 90 95

Asn Thr Ser Tyr Ser Ser Ala Val Gln Lys Glu Ile Thr Leu Pro Ser 100 105 110

Arg Leu Val Tyr Tyr Ile Asn Gln Asp Ser Glu Ser Pro Tyr His Val 115 120 125

Leu Asp Thr Lys Ala Arg His Gln Gln Lys His Asn Lys Ala Val His 130 135 140

Leu Ala Gln Ala Ser Phe Gln Ile Glu Ala Phe Gly Ser Lys Phe Ile 145 150 155 160

Leu Asp Leu Thr Leu Asn Asn Gly Leu Leu Ser Ser Asp Tyr Val Glu 165 170 175

Ile His Tyr Glu Asp Gly Lys Gln Met Tyr Ser Lys Gly Gly Glu His 180 185 190

Cys Tyr Tyr His Gly Ser Ile Arg Gly Val Lys Asp Ser Arg Val Ala 195 200 205

Leu Ser Thr Cys Asn Gly Leu His Gly Met Phe Glu Asp Asp Thr Phe 210 215 220

Val Tyr Met Ile Glu Pro Leu Glu Leu Thr Asp Asp Glu Lys Ser Thr 225 230 235 240

Gly Arg Pro His Ile Ile Gln Lys Thr Leu Ala Gly Gln Tyr Ser Lys 245 250 255

Gln Met Lys Asn Leu Ser Thr Asp Gly Ser Asp Gln Trp Pro Leu Leu 260 265 270

Pro Glu Leu Gln Trp Leu Arg Arg Arg Lys Arg Ala Val Asn Pro Ser

280 285

275

Arg Gly Val Phe Glu Glu Met Lys Tyr Leu Glu Leu Met Ile Val Asn 290 295 300

Asp His Lys Thr Tyr Lys Lys His Arg Ser Ser His Ala His Thr Asn 305 310 315 320

Asn Phe Ala Lys Ser Val Val Asn Leu Val Asp Ser Ile Tyr Lys Glu 325 330 335

Gln Leu Asn Thr Arg Val Val Leu Val Ala Val Glu Thr Irp Thr Glu 340 345 350

Lys Asp His Ile Asp Ile Thr Ile Asn Pro Val Gln Met Leu His Asp 355 360 365

Phe Ser Lys Tyr Arg Gln Arg Ile Lys Gln His Ala Asp Ala Val His 370 375 380

Leu Ile Ser Arg Val Thr Phe His Tyr Lys Arg Ser Ser Leu Ser Tyr 385 390 395 400

Phe Gly Gly Val Cys Ser Arg Ile Arg Gly Val Gly Val Asn Glu Tyr 405 410 415

Gly Leu Pro Met Ala Val Ala Gln Val Leu Ser Gln Ser Leu Ala Gln 420 425 430

Asn Leu Gly Ile Gln Trp Glu Pro Ser Ser Arg Lys Pro Lys Cys Glu 435 440 445

Cys Ile Glu Ser Trp Gly Gly Cys Ile Met Glu Glu Thr Gly Val Ser 450 455 460

His Ser Arg Lys Phe Ser Lys Cys Ser Ile Leu Glu Tyr Arg Asp Phe

480

Leu Gln Arg Gly Gly Gly Ala Cys Leu Phe Asn Arg Pro Thr Lys Leu 485 490 495

465

Phe Glu Pro Thr Glu Cys Gly Asn Gly Tyr Val Glu Ala Gly Glu Glu
500 505 510

Cys Asp Cys Gly Phe His Val Glu Cys Tyr Gly Val Cys Cys Lys Lys 515 520 525

Cys Ser Leu Ser Asn Gly Ala His Cys Ser Asp Gly Pro Cys Cys Asn 530 535 540

Asn Thr Ser Cys Leu Phe Gln Ser Arg Gly Tyr Glu Cys Arg Asp Ala 545 550 555 560

Val Asn Ser Cys Asp Ile Thr Glu Tyr Cys Thr Gly Asp Ser Gly Gln 565 570 575

Cys Pro Pro Asn Leu His Lys Gln Asp Gly Tyr Ser Cys Asn Gln Asn 580 585 590

Gln Gly Arg Cys Tyr Asn Gly Glu Cys Lys Thr Arg Asp Asn Gln Cys 595 600 605

Gln Tyr Ile Trp Gly Thr Lys Ala Ala Gly Ser Asp Lys Phe Cys Tyr 610 615 620

Glu Lys Leu Asn Thr Glu Gly Thr Glu Lys Gly Asn Cys Gly Lys Asp 625 630 635 640

Gly Asp Arg Trp Ile Pro Cys Ser Lys His Asp Val Phe Cys Gly Phe 645 650 655

Leu Leu Cys Thr Asn Leu Thr Arg Ala Pro Arg Ile Gly Gln Leu Gln

660 665 670

Gly Glu Ile Ile Pro Thr Ser Phe Tyr His Gln Gly Arg Val Ile Asp 675 680 685

Cys Ser Gly Ala His Val Val Leu Asp Asp Asp Thr Asp Val Gly Tyr 690 695 700

Val Glu Asp Gly Thr Pro Cys Gly Pro Ser Met Met Cys Leu Asp Arg 705 710 715 720

Lys Cys Leu Gln Ile Gln Ala Leu Asn Met Ser Ser Cys Pro Leu Asp 725 730 735

Ser Arg Gly Lys Val Cys Ser Gly His Gly Val Cys Ser Asn Glu Ala 740 745 750

Thr Cys Ile Cys Asp Phe Thr Trp Ala Gly Thr Asp Cys Ser Ile Arg 755 760 765

Asp Pro Val Arg Asn Pro Asn Pro Pro Lys Asp Glu Gly Pro Lys Gly 770 775 780

Pro Ser Ala Thr Asn Leu Ile Ile Gly Ser Ile Ala Gly Ala Ile Leu 785 790 795 800

Val Ala Ala Ile Val Leu Gly Gly Thr Gly Trp Gly Phe Lys Asn Val 805 810 815

Lys Lys Arg Arg Phe Asp Pro Thr Gln Gln Gly Pro Ile 820 825

<210> 28

<211> 2499

<212> DNA

<213> Homo sapiens

<220> <221> CDS <222> (1)(3	2496)			
	cc ggc agc agc ro Gly Ser Ser 5		o Pro Leu Ala	
Ser Leu Ala G	ge get tee tge Ny Ala Ser Cys O			
	ge gee eeg gee er Ala Pro Ala			
	tg ctg cct ccg eu Leu Pro Pro 55			
	et geg eee age la Ala Pro Ser 70		p Asn Glu Thr	
	iga gtc ctg gca Ny Val Leu Ala 85		sn Thr Leu Gln	
Ser Ser Ser A	at atc agt tac Asn Ile Ser Tyr OO			
-	ga ctc ata tat Arg Leu Ile Tyr			-
	ett gac aca aag eu Asp Thr Lys 135	-	•	· ·
	ctg gcc cag gca .eu Ala Gln Ala 150	Ser Phe Gln Il		
	ett gac etc ata Leu Asp Leu Ile 165			

-				tac Tyr										576
 		_		tac Tyr										624
				acc Thr										672
				atg Met 230										720
-				cca Pro										768
	_		Met	aag Lys										816
				tta Leu										864
	Ser			ata Ile						Leu			atg Met	912
Val					Thr				Arg				gca Ala 320	960
				Ala				Asn					att Ile	1008
-		_	Leu				Val					Glu	acc Thr	1056
		Lys				Ile					Val		atg Met	1104

										gct Ala		1152
										agc Ser		1200
										ggt Gly 415		1248
										cag Gln		1296
										aag Lys		1344
										gaa Glu		1392
									-	gag Glu		1440
										agg Arg 495		1488
		Glu								gaa Glu		1536
 	 Cys	-	 			***				tta Leu		1584
_							-	-	_	999 Gly		1632
Cys			Cys		_		-			gaa Glu	-	1680

	-	-									tgt Cys				1728
											gga Gly				1776
											aag Lys 605				1824
											ggg Gly				1872
											aag Lys				1920
											cat His				1968
-											cca Pro		He		2016
		_	Gly				Thr				cat His 685	Gln			2064
		Asp									Asp			gat Asp	2112
	Gly					Gly				Pro	tct Ser				2160
			-		Leu				Leu					tgt Cys	2208
		-		Lys				Ser					Cys	agt Ser	2256

aat gaa gcc acc tgc att tgt gat ttc acc tgg gca ggg aca gat tgc Asn Glu Ala Thr Cys Ile Cys Asp Phe Thr Trp Ala Gly Thr Asp Cys 755 760 765	2304
agt atc cgg gat cca gtt agg aac ctt cac ccc ccc aag gat gaa gga Ser Ile Arg Asp Pro Val Arg Asn Leu His Pro Pro Lys Asp Glu Gly 770 775 780	2352
ccc aag ggt cct agt gcc acc aat ctc ata ata ggc tcc atc gct ggt Pro Lys Gly Pro Ser Ala Thr Asn Leu Ile Ile Gly Ser Ile Ala Gly 785 790 795 800	2400
gcc atc ctg gta gca gct att gtc ctt ggg ggc aca ggc tgg gga ttt Ala Ile Leu Val Ala Ala Ile Val Leu Gly Gly Thr Gly Trp Gly Phe 805 810 815	2448
aaa aat gtc aag aag aga agg ttc gat cct act cag caa ggc ccc atc Lys Asn Val Lys Lys Arg Arg Phe Asp Pro Thr Gln Gln Gly Pro Ile 820 825 830	2496
tga	2499
<210> 29 <211> 832 <212> PRT <213> Homo sapiens	
<pre><400> 29 Met Lys Pro Pro Gly Ser Ser Ser Arg Gln Pro Pro Leu Ala Gly Cys 1 5 10 15</pre>	
Ser Leu Ala Gly Ala Ser Cys Gly Pro Gln Arg Gly Pro Ala Gly Ser 20 25 30	
20 25 30 Val Pro Ala Ser Ala Pro Ala Arg Thr Pro Pro Cys Arg Leu Leu Leu	

Lys Asn Leu Gly Val Leu Ala Asp Glu Asp Asn Thr Leu Gln Gln Asn Ser Ser Ser Asn Ile Ser Tyr Ser Asn Ala Met Gln Lys Glu Ile Thr Leu Pro Ser Arg Leu Ile Tyr Tyr Ile Asn Gln Asp Ser Glu Ser Pro Tyr His Val Leu Asp Thr Lys Ala Arg His Gln Gln Lys His Asn Lys Ala Val His Leu Ala Gln Ala Ser Phe Gln Ile Glu Ala Phe Gly Ser Lys Phe Ile Leu Asp Leu Ile Leu Asn Asn Gly Leu Leu Ser Ser Asp Tyr Val Glu Ile His Tyr Glu Asn Gly Lys Pro Gln Tyr Ser Lys Gly Gly Glu His Cys Tyr Tyr His Gly Ser Ile Arg Gly Val Lys Asp Ser Lys Val Ala Leu Ser Thr Cys Asn Gly Leu His Gly Met Phe Glu Asp Asp Thr Phe Val Tyr Met Ile Glu Pro Leu Glu Leu Val His Asp Glu Lys Ser Thr Gly Arg Pro His Ile Ile Gln Lys Thr Leu Ala Gly Gln

Tyr Ser Lys Gln Met Lys Asn Leu Thr Met Glu Arg Gly Asp Gln Trp

Pro Phe Leu Ser Glu Leu Gln Trp Leu Lys Arg Arg Lys Arg Ala Val Asn Pro Ser Arg Gly Ile Phe Glu Glu Met Lys Tyr Leu Glu Leu Met Ile Val Asn Asp His Lys Thr Tyr Lys Lys His Arg Ser Ser His Ala His Thr Asn Asn Phe Ala Lys Ser Val Val Asn Leu Val Asp Ser Ile Tyr Lys Glu Gln Leu Asn Thr Arg Val Val Leu Val Ala Val Glu Thr Trp Thr Glu Lys Asp Gln Ile Asp Ile Thr Thr Asn Pro Val Gln Met Leu His Glu Phe Ser Lys Tyr Arg Gln Arg Ile Lys Gln His Ala Asp Ala Val His Leu Ile Ser Arg Val Thr Phe His Tyr Lys Arg Ser Ser Leu Ser Tyr Phe Gly Gly Val Cys Ser Arg Thr Arg Gly Val Gly Val Asn Glu Tyr Gly Leu Pro Met Ala Val Ala Gln Val Leu Ser Gln Ser Leu Ala Gln Asn Leu Gly Ile Gln Trp Glu Pro Ser Ser Arg Lys Pro Lys Cys Asp Cys Thr Glu Ser Trp Gly Gly Cys Ile Met Glu Glu Thr

465	Val	Ser	нтѕ	5er	470	Lys	rne	ser	Lys	475	ser	11e	Leu	ulu	19r 480
Arg	Asp	Phe	Leu	G1n 485	Arg	Gly	Gly	Gly	Ala 490	Cys	Leu	Phe	Asn	Arg 495	Pro
Thr	Lys	Leu	Phe 500	Glu	Pro	Thr	Glu	Cys 505	Gly	Asn	Gly	Tyr	Va1 510	Glu	Ala
Gly	Glu	Glu 515	Cys	Asp	Cys	Gly	Phe 520	His	Val	Glu	Cys	Tyr 525	Gly	Leu	Cys
Cys	Lys 530	Lys	Cys	Ser	Leu	Ser 535	Asn	Gly	Ala	His	Cys 540	Ser	Asp	Gly	Pro
545					Ser 550					555					560
	·			565	Glu				570					575	
			580		Pro			585					590		
		595					600					605			Asp
	610		5.0			615					620				Lys
625					630					635					Cys 640
ыу	Lys	asp	uly	ASP 645		ırp	116	นเก	650		£УS	. n:s	ныр	655 655	Phe

Cys Gly Phe Leu Leu Cys Thr Asn Leu Thr Arg Ala Pro Arg Ile Gly Gln Leu Gln Gly Glu Ile Ile Pro Thr Ser Phe Tyr His Gln Gly Arg Val Ile Asp Cys Ser Gly Ala His Val Val Leu Asp Asp Asp Thr Asp Val Gly Tyr Val Glu Asp Gly Thr Pro Cys Gly Pro Ser Met Met Cys Leu Asp Arg Lys Cys Leu Gln Ile Gln Ala Leu Asn Met Ser Ser Cys Pro Leu Asp Ser Lys Gly Lys Val Cys Ser Gly His Gly Val Cys Ser Asn Glu Ala Thr Cys Ile Cys Asp Phe Thr Trp Ala Gly Thr Asp Cys Ser Ile Arg Asp Pro Val Arg Asn Leu His Pro Pro Lys Asp Glu Gly Pro Lys Gly Pro Ser Ala Thr Asn Leu Ile Ile Gly Ser Ile Ala Gly Ala Ile Leu Val Ala Ala Ile Val Leu Gly Gly Thr Gly Trp Gly Phe Lys Asn Val Lys Lys Arg Arg Phe Asp Pro Thr Gln Gln Gly Pro Ile

<210>

<211> 37

•	(X1Z>	UNA	
	<213>	Artificial/Unknown	
	<220>		
	<223>	primer	
	<400>	30	
	ccggtcg	acc accatggaac teeggaeeeg aggetgg	37
	<210>	31	
	<211>	32	
	<212>	DNA	
	<213>	Artificial/Unknown	
	<220>		
	<223>	primer	
	<400>	31	
	ccgaati	cett acceccacet gegecteget ge	32
	404 DV	nn	
	<210>		
	<211>		
	<212>	Artificial/Unknown	
	32107	ALCH ICIAT/ ODKDOWD	
	<220>		
		primer	
	12201	pr mer	
	<400>	37	
		gage caccatgaag cetttteata etgee	35
	<210>	33	
	<211>		
	<212>		
		Artificial/Unknown	
	<220>		
	<223>	primer	
	<400>		
	tccgaa	ttct tattgtttgt aggtccgtgg	30
	<210>	34	
	<211>	36	

```
<212> DNA
<213> Artificial/Unknown
<220>
<223> primer
<400> 34
ccgctcgagc caccatgttg gctgcaaggc tggtgt
                                                                    36
<210> 35
<211> 31
<212> DNA
<213> Artificial/Unknown
<220>
<223> primer
<400> 35
ccggatatct catttctttc tgttgcctcc a
                                                                    31
<210> 36
<211> 34
<212> DNA
<213> Artificial/Unknown
<220>
<223> primer
<400> 36
ccgctcgagc caccatgagc acctcgtctg cgcg
                                                                    34
<210> 37
<211> 29
<212> DNA
<213> Artificial/Unknown
<220>
<223> primer
<400> 37
tccgttaact taatagtcat catagttca
                                                                    29
<210> 38
<211> 20
```

27175	UNA	
<213>	Artificial/Unknown	
<220>		
<223>	primer	
<400>	38 Etac tgtatattta	20
agutta	icac igiacaicia	20
<210>		
<211>		
<212>	Artificial/Unknown	
3210		
<220>		
<223>	primer	
<400>	39	
	tttc ataagtcatc	20
_		
40105	in.	
<210> <211>		
<212>		
	Artificial/Unknown	
<220>	es ar vi frees, pr	
NECOX	primer	
<400>	40	
ctcggg	aagc gcgccattgt gttggt	26
<210>	41	
<211>		
<212>		
<213>	Artificial/Unknown	
<220>		
	primer	
<400>		~ 4
ccgctc	gage caccatgegt ttttgeetet tete	34
<210>	·	
<211>	28	

<212>	UNA	
<213>	Artificial/Unknown	
<220>		
	primer	
12.01	promote the second seco	
	42	
cggaat	tett attggttcae tetgtetg	28
<210>	A3	
<211>		
<212>		
	Artificial/Unknown	
<220>		
<223>	primer	
<400>	43	
	egac ccaccatgcc ccgctacgag ttg	33
acarar	cyac coaccatyce ceyotacyay tty	Ott
<210>	44	
<211>	29	
<212>		
<213>	Artificial/Unknown	
<220>		
	primer	
	er rince.	
	44	
attgaa	ttct cactictice tectetitg	29
<210>	45	
<211>		
<212>		
	Artificial/Unknown	
<220>		
<223>	primer	
<400>	45	
	gage caccatgaag eegeeeggea geate	35
203000	-എംഎന്ന സാവാന്ത്രയായും തുടുക്കുന്നു. പ്രത്യത്ത്ര	~ •
<210>		
<211>	29	

<212> DNA

<213> Artificial/Unknown

<220>

<223> primer

<400> 46

cggaattctc agatggggcc ttgctgagt

請求の範囲

- 1. 以下の(A) または(B) のポリペプチドをコードするDNA。
- (A) 配列番号19、配列番号23、および、配列番号25からなる群から選ばれるアミノ酸配列を少なくとも有するボリベプチド。
- (B) (A) に記載のアミノ酸配列において、1若しくは数個のアミノ酸が置換、 欠失または挿入されたアミノ酸配列を有し、かつ、造血幹細胞または造血前駆細胞 の増殖または生存を支持する活性を有するボリペプチド。
 - 2. 以下の(a) または(b) のDNAである請求項1記載のDNA。
- (a) 配列番号 18 において塩基番号 $1\sim444$ からなる塩基配列、配列番号 22 において塩基番号 $642\sim1370$ からなる塩基配列、および、配列番号 24 において塩基番号 $132\sim506$ からなる塩基配列からなる群から選ばれる塩基配列を少なくとも有する 2000 ののようなる塩基配列からなる群から選ばれる塩基配列を少なくとも有する 2000 ののようなる塩基配列からなる
- (b) (a) に記載の塩基配列を有するDNAまたは同DNAから調製され得るプローブとストリンジェントな条件下でハイブリダイズし、かつ、造血幹細胞または造血前駆細胞の増殖または生存を支持する活性を有するポリペプチドをコードするDNA。
- 3. 前記ストリンジェントな条件が、6×SSC、5×Denhardt、0.5% SDS、68℃ (SSC; 3M NaCl、0.3M クエン酸ナトリウム) (50×Denhardt; 1% BSA、1% ポリビニルビロリドン、1% Ficoll 400) または6×SSC、5×Denhardt、0.5% SDS、50% ホルムアミド、42℃である請求項 2 記載のDNA。
- 4. 請求項1~3のいずれか一項に記載のDNAを発現可能な形態で含む発現ベクター。
- 5. 請求項1~3のいずれか一項に記載のDNAが発現可能な形態で導入された細胞。
- 6. 請求項1~3のいずれか一項に記載のDNAの発現産物であり、造血幹細胞または造血前駆細胞の増殖または生存を支持する活性を有するポリペプチド。
 - 7. 配列番号19、配列番号23、および、配列番号25からなる群から選ば

れるアミノ酸配列、または、このアミノ酸配列において、1若しくは数個のアミノ酸が置換、欠失または挿入されたアミノ酸配列を有する請求項6記載のポリペプチド。

- 8. ポリエチレングリコール (PEG)、デキストラン、ボリ (N-ビニルーピロリドン)、ボリプロピレングリコールホモボリマー、ポリプロピレンオキシド/エチレンオキシドのコポリマー、ポリオキシエチル化ポリオール、ボリビニルアルコールのいずれか、またはそれらの2種以上の組合わせによって修飾された請求項6又は7に記載のポリペプチド。
- 9. 請求項6~8のいずれか一項に記載のポリベプチドに結合するモノクローナル抗体。
- 10. 以下の(A) または(B) のポリペプチドをコードするDNAが発現したストローマ細胞を造血幹細胞または造血前駆細胞と共培養することを含む、造血幹細胞または造血前駆細胞の増殖または生存を支持する方法。
- (A)配列番号9、配列番号11、配列番号13、配列番号15、配列番号17、配列番号19、配列番号21、配列番号23、配列番号25、配列番号27、および、配列番号29からなる群から選ばれるアミノ酸配列を少なくとも有するポリペプチド。
- (B) (A) に記載のアミノ酸配列において、1若しくは数個のアミノ酸が置換、 欠失または挿入されたアミノ酸配列を有し、かつ、造血幹細胞または造血前駆細胞 の増殖または生存を支持する活性を有するポリペプチド。
- 11. DNAが以下の(a)または(b)のDNAである請求項10記載の方法。
- (a) 配列番号 8 において塩基番号 $1 \sim 1671$ からなる塩基配列、配列番号 10 において塩基番号 $1 \sim 366$ からなる塩基配列、配列番号 12 において塩基番号 $1 \sim 366$ からなる塩基配列、配列番号 14 において塩基番号 14 において塩基配列 14 において塩基番号 14 において塩 14 においてはよい 14

塩基配列、配列番号 26 において塩基番号 $1\sim2487$ からなる塩基配列、および、配列番号 28 において塩基番号 $1\sim2496$ からなる塩基配列、からなる群から選ばれる塩基配列を少なくとも有する DNA。

- (b) (a) に記載の塩基配列を有するDNAまたは同DNAから調製され得るプロープとストリンジェントな条件下でハイブリダイズし、かつ、造血幹細胞または造血前駆細胞の増殖または生存を支持する活性を有するポリペプチドをコードするDNA。
- 12. 以下の(A)または(B)のポリペプチドであって、その存在下で造血幹細胞または造血前駆細胞を培養したときに造血幹細胞または造血前駆細胞の増殖または生存を支持する活性を示すポリペプチドの存在下で造血幹細胞または造血前駆細胞を培養することを含む、造血幹細胞または造血前駆細胞の増殖または生存を支持する方法。
- (A)配列番号9、配列番号11、配列番号13、配列番号15、配列番号17、配列番号19、配列番号21、配列番号23、配列番号25、配列番号27、および、配列番号29からなる群から選ばれるアミノ酸配列を少なくとも有するボリペプチド。
- (B) (A) に記載のアミノ酸配列において、1若しくは数個のアミノ酸が置換、 欠失または挿入されたアミノ酸配列を有し、かつ、造血幹細胞または造血前駆細胞 の増殖または生存を支持する活性を有するポリペプチド。
- 13. 以下の(A)または(B)のポリペプチドであって、その存在下で造血幹 細胞または造血前駆細胞を培養したときに、造血幹細胞または造血前駆細胞の増殖 または生存を支持する活性を示すポリペプチドを有効成分として含む、造血幹細胞 または造血前駆細胞の増殖または生存を支持し得る医薬組成物。
- (A)配列番号9、配列番号11、配列番号13、配列番号15、配列番号17、 配列番号19、配列番号21、配列番号23、配列番号25、配列番号27、およ び、配列番号29からなる群から選ばれるアミノ酸配列を少なくとも有するボリペ プチド。
 - (B) (A) に記載のアミノ酸配列において、1若しくは数個のアミノ酸が置換、

欠失または挿入されたアミノ酸配列を有し、かつ、造血幹細胞または造血前駆細胞 の増殖または生存を支持する活性を有するボリベプチド。

要約書

造血幹細胞または造血前駆細胞の増殖または生存を支持する細胞、および支持しない細胞の細胞間で発現する遺伝子を比較することで、造血幹細胞または造血前駆細胞を支持する活性を有するのポリペプチドをコードする遺伝子を単離し、単離された遺伝子を発現するストローマ細胞または単離された遺伝子の発現産物を用いて造血幹細胞または造血前駆細胞の増殖または生存を支持する。

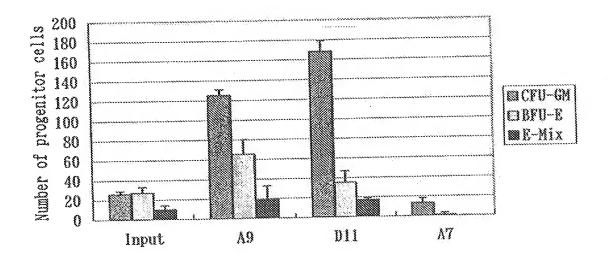


Fig.1

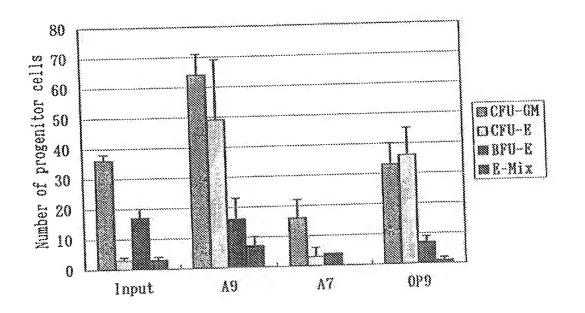
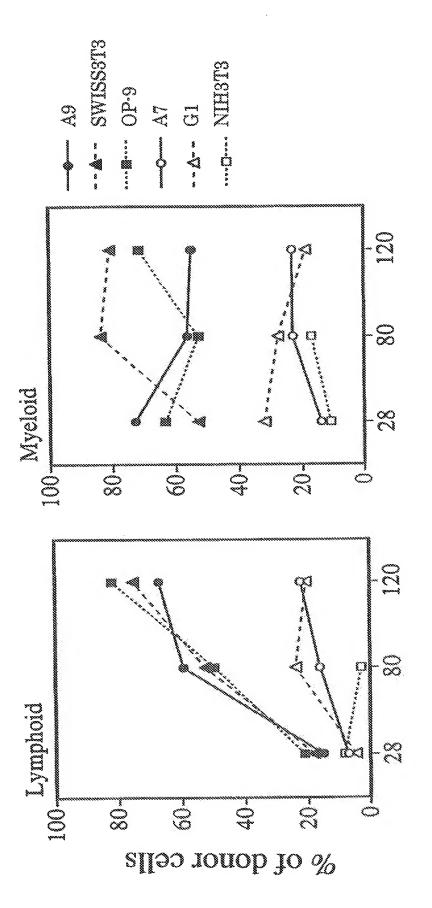
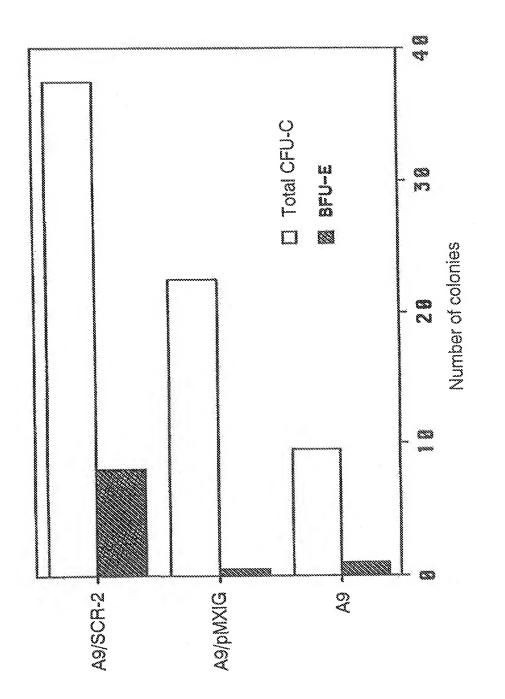


Fig.2

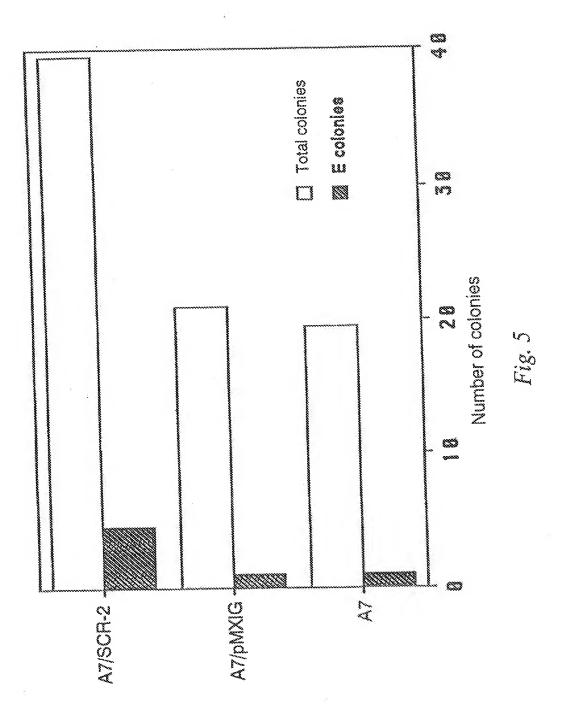


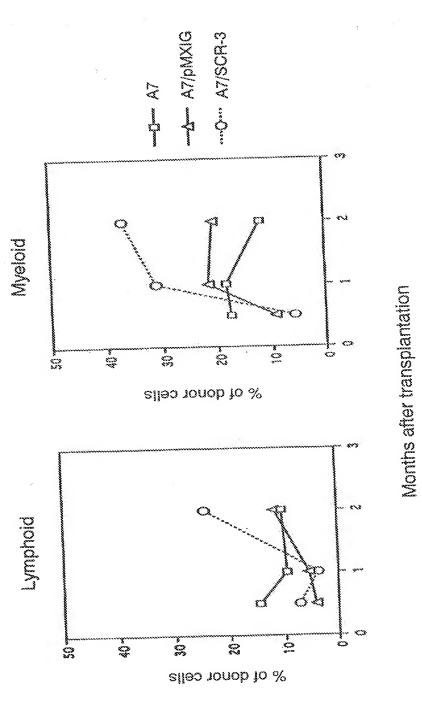
Days after transplantation

13. 13. 13.



1.00 20





,

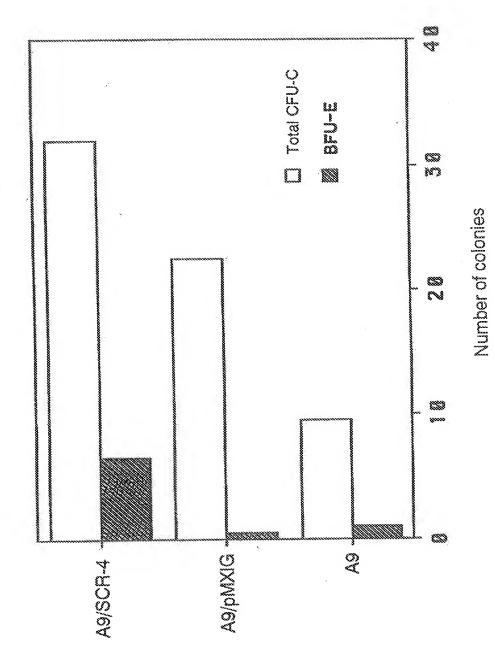
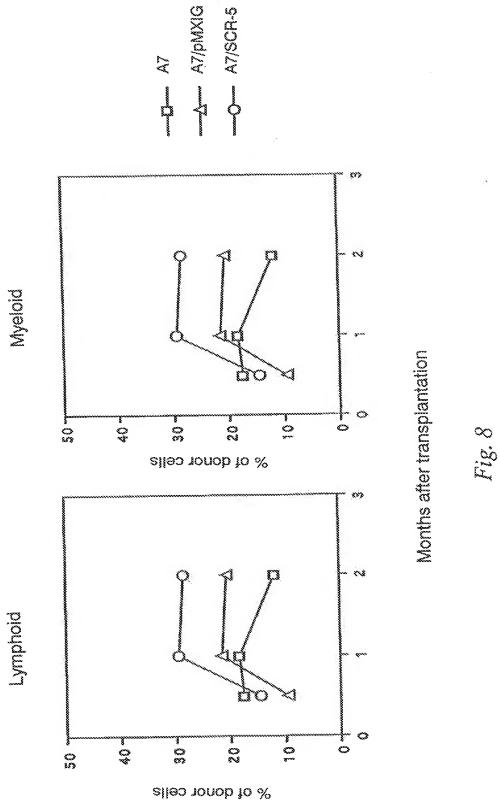
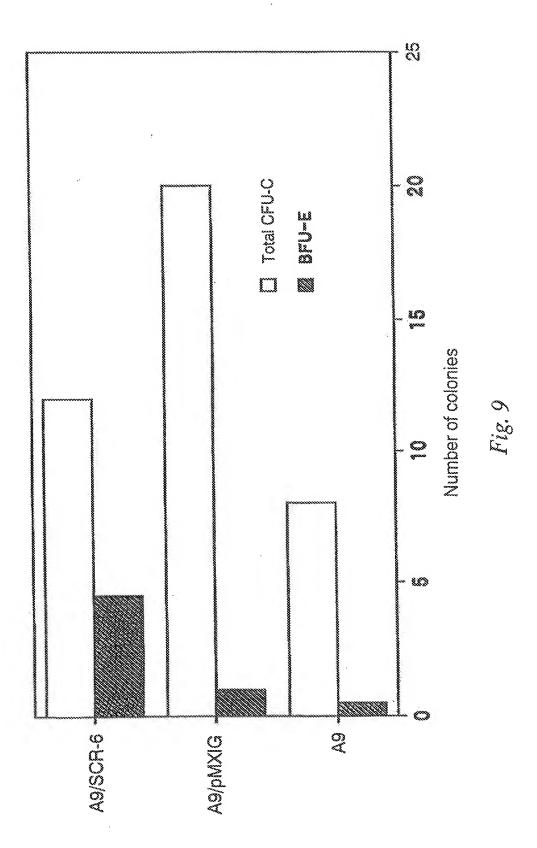


Fig. 7





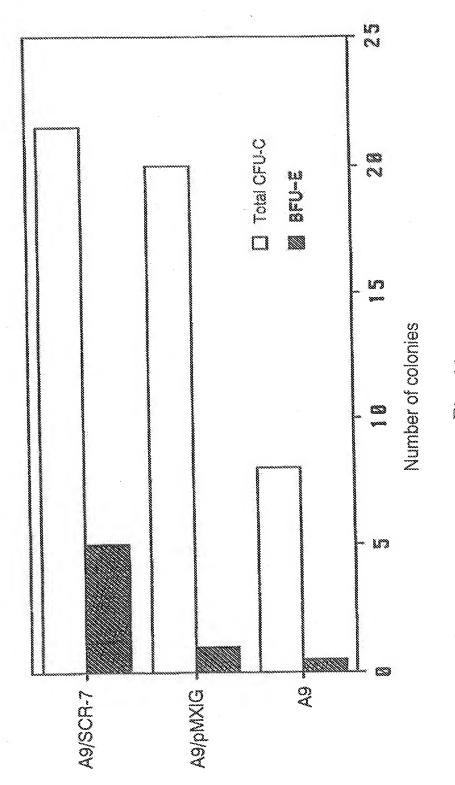
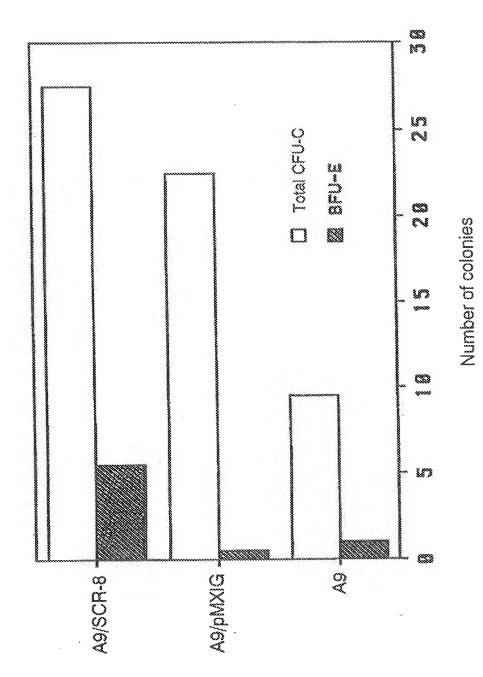


Fig. 10



rio I